

農薬抄録

一般名 : トリフルミゾール

(殺菌剤)

(作成年月日) 昭和 59 年 10 月 9 日

(改定年月日) 平成 11 年 10 月 9 日

(改定年月日) 平成 20 年 3 月 21 日(抜粋版)

(改定年月日) 平成 21 年 1 月 28 日

(改定年月日) 平成 21 年 3 月 21 日(抜粋版)

(改定年月日)平成 21 年 4 月 27 日

(改定年月日) 平成 22 年 3 月 8 日

(改定年月日) 平成 23 年 10 月 6 日

(改定年月日) 平成 25 年 5 月 31 日

(改訂年月日)平成 26 年 12 月 24 日

(作成会社名) 日本曹達株式会社

(作成責任者・所属) 農業化学品事業部 登録部 部長

	(会社名)	(担当部課)	(担当者名)	(TEL)
連絡先	日本曹達株式会社	農業化学品事業部 登録部		

目 次

I. 開発の経緯	開発－ 1
II. 物理化学的性状	物化性－ 1
III. 生物活性	活性－ 1
IV. 適用及び使用上の注意	適用－ 1
V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係	
1. 作物残留試験	残留－ 1
2. 乳汁への移行試験	残留－ 4 8
3. 土壌残留試験	残留－ 4 8
4. 後作物残留試験	残留－ 4 9
5. 水質汚濁性試験	残留－ 4 9
VI. 有用動植物等に及ぼす影響	有用－ 1
VII. 使用時安全上の注意、解毒法等	使用時－ 1
VIII. 毒性	
毒性一覧表	毒性一覧－ 1
1. 原体	
急性毒性	毒A－ 1
皮膚に対する刺激性	毒A－ 1 2
眼に対する刺激性	毒A－ 1 4
皮膚感作性	毒A－ 1 6
急性神経毒性	毒A－ 2 0
急性遅発性神経毒性	毒A－ 2 6
2 8 日間反復経口投与毒性	毒A－ 2 7
9 0 日間反復経口投与毒性	毒A－ 2 9

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

2	1 日間反復経皮投与毒性	毒A-42
	90 日間反復吸入毒性	毒A-46
	反復経口投与神経毒性	毒A-47
	28 日間反復経口投与遅発性神経毒性	毒A-55
	1 年間反復経口投与毒性及び発がん性	毒A-56
	繁殖毒性	毒A-129
	催奇形性	毒A-152
	変異原性	毒A-169
	生体機能に及ぼす影響	毒A-182
	補足試験	毒A-188
2.	原体混在物及び代謝物の毒性	
	急性毒性	毒B-1
	90 日間反復経口投与毒性	毒B-13
	催奇形性	毒B-18
	変異原性	毒B-21
3.	製剤	
	水和剤	
	急性毒性	毒C-1
	皮膚に対する刺激性	毒C-3
	眼に対する刺激性	毒C-4
	皮膚感作性	毒C-6
	乳剤	
	急性毒性	毒C-8
	皮膚に対する刺激性	毒C-11
	眼に対する刺激性	毒C-12

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

皮膚感作性	毒C-19
くん煙剤	
急性毒性	毒C-21
皮膚に対する刺激性	毒C-26
眼に対する刺激性	毒C-27
皮膚感作性	毒C-28
IX. 動植物及び土壌等における代謝分解	運命-1
[附] トリフルミゾールの開発年表	年表-1

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

I. 開発の経緯

1971年オランダでベンツイミダゾール系殺菌剤（BZ 剤）に耐性のシクラメン灰色かび病菌が出現して以来、1970年代中頃までに国内はもとより海外においても、果樹・野菜のうどんこ病菌、灰色かび病菌、りんご・なしの黒星病菌等に相次ぎ BZ 剤耐性菌が出現し、これら耐性菌に対する対策が必要となってきた。しかしながら優れた特性（浸透性・治療性）を有する BZ 剤に代替できる殺菌剤が少なく、生産現場ならびに防除指導関係者より新剤の研究開発が強く望まれた。

1974年、日本曹達（株）生物科学研究所では、化合物選抜のためにりんご黒星病実生苗ポット法を採用し、BZ 剤耐性菌株にも有効な殺菌剤の探索を開始した。

一方この頃、同ファインケミカル研究所では、有機化合物合成デザインの際に、含窒素（N）ヘテロ環化合物とくに、イミダゾール環化合物が植物および病原菌の生体内で Carrier moiety（輸送担体）として行動するとの予想のもとに、本系統化合物の合成を開始した。

初期のイミダゾール系合成化合物は、うどんこ病菌のみに高い効力を示したが他病害に対する効力は劣ったため、さらに大規模な合成展開をおこないスペクトラムの拡大、特にりんご黒星病菌に対して高い効力を有する化合物の探索を続けた結果、1977年末に、りんご黒星病、きゅうり・うどんこ病の両病害に対し優れた活性を有するトリフルミゾールを発見するに至った。さらに圃場試験および特性試験が実施され、その結果、本剤はりんご・なしにおいて黒星病およびうどんこ病の BZ 剤感受性菌と BZ 剤耐性菌に対し同様に有効であり、赤星病にも効力を持ち、治療性および植物体内への浸透性に優れた特性を有していることも判明した。

以上の結果より本剤の開発を決意し、1979年より日本植物防疫協会を通じ委託試験を開始し、幅広い作物の病害に薬害なく優れた効力を示すことが確認され、一方並行して開始された長期毒性試験をはじめとする、各種毒性試験、動・植物代謝研究、残留試験などより安全性も確認され、本剤は充分実用性のあることが評価された。昭和 61 年 4 月 14 日付けでトリフミン水和剤が登録認可された(第 16300 号)。その後、昭和 62 年 1 月 19 日付けでトリフミンジェット(第 16644 号)、平成元年 8 月 30 日付けでトリフミン乳剤(第 17375 号)、平成 10 年 1 月 28 日付けでクリアパッチ DF(第 19903 号)が認可され、更に、混合剤として平成元年 6 月 1 日付けでチオファネートメチル(45%)・トリフルミゾール(15%)水和剤：農薬の名称 ルミライト水和剤(第 17324 号)、平成 6 年 9 月 20 日付けでチオファネートメチル(45%)・トリフルミゾール(15%)水和剤：農薬の名称 トップティ水和剤(第 18791 号)、平成 6 年 9 月 28 日付けでオキシリニック酸(20%)・トリフルミゾール(10%)水和剤：農薬の名称 日曹トリフミンスターナ SE(第 18797 号)、平成 15 年 11 月 26 日付けでシフルフェナミド(3.4%)・トリフルミゾール(15%)水和剤：農薬の名称 パンチョ TF 顆粒水和剤(第 21117 号)、平成 17 年 3 月 9 日付けでシフルフェナミド(2%)・トリフルミゾール(10%)くん煙剤：農薬の名称 パンチョ TF ジェット(第 21477 号)が認可され現在に至っている。一日許容摂取量

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

(ADI)は、食品安全委員会において平成25年11月11日付けで0.015 mg/kg 体重/日と設定された。

諸外国における登録/規制状況

現時点における主要諸外国における登録/規制状況（適用作物及び残留基準値、MRL）は以下のとおりである。

国名	適用作物	MRLs (ppm)
EU	いちご、なす、うり科植物(きゅうり、ガーキン、ズッキーニ、その他漬物用うり科植物)	0.2
	りんご、なし、かりん	0.5
	トマト(ミニトマト)	1
	おうとう	1.5
	ぶどう	3
	その他作物	0.1
	畜産物	0.05*
米国	ヘーゼルナッツ	0.05
	りんご、なし、うり類	0.5
	おうとう	1.5
	いちご、りんご(搾りかす)	2
	ぶどう	2.5
	レーズン	10
	ぶどう(搾りかす)	15
	牛・山羊・豚・馬・羊(肉)、家禽(肉、脂肪)、卵、牛乳	0.05
	家禽(その他)	0.1
牛・山羊・豚・馬・羊(脂肪、その他)	0.5	
カナダ	りんご、なし、うり類	0.5
	おうとう	1.5
	いちご	2
	ぶどう	2.5
オーストラリア	りんご、なし、ぶどう	0.5
台湾	りんご、なし、いちご、メロン	1
	うり類	0.5

*:分析法の定量限界

諸外国における評価状況

次ページの表に諸外国の評価状況をまとめた。

- 1) EUにおいては、2009年に一日許容摂取量(ADI)が0.05 mg/kg 体重/日、急性参照用量(ARfD)が0.1 mg/kg 体重と設定された。
- 2) 米国においては、2009年に食品品質保護法(FQPA)に基づく再評価が実施され、慢性人口換算用量(cPAD)が0.0117 mg/kg 体重/日(含・FQPA SF:3)、急性人口換算用量(aPAD)が0.25 mg/kg 体重(一般集団)及び0.1 mg/kg 体重(13~49歳女性)に設定された。
- 3) FAO/WHO 合同残留農薬専門会議(JMPR)においては、2013年に評価され、ADIが0-0.04 mg/kg 体重/日、ARfDが0.3 mg/kg 体重/日と設定され、翌2014年にCodex MRLが設定された。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

諸外国の一日許容摂取量及び急性参照用量

国 評価年	ADI/ARfD (mg/kg 体重/日)	根拠試験 資料番号など	最小毒性量 (mg/kg 体重/日) エンドポイント	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	安全係 数
諸外国の ADI					
EU 2009 ¹⁾	0.05	ラット繁殖毒性試験 [毒 A26]	11.8 (170 ppm) 母毒性のある用量における 交配・繁殖パラメータ、雄の生殖 器官への影響	4.8	100
米国 2012 ²⁾	0.0117 (含 FQPA:3)	ラット慢性毒性/発がん試験 [毒 A22] MRID 00156545	3.5 (100 ppm) 肝毒性 (雄の好酸性変異肝 細胞巣*及び雌の局所性炎 症、脂肪性空胞変性及び壊 死)	LOAEL: 3.5	100 FQPA: 3
JMPR 2013 ³⁾	0-0.04	ラット慢性毒性/発がん試 験 [毒 A22]	14 (400 ppm) 肝毒性 (肝重量増加・び慢 性脂肪性空胞形成・小葉中 心性肝細胞肥大等)	3.5	100
諸外国の ARfD					
EU 2009 ¹⁾	0.1	ラット催奇形性試験 [毒 A27]	35 生存胎児数減少、胎児体重 減少、後期吸収胚増加及び 胎盤重量増加	10	100
米国 2012 ²⁾	0.25	ラット急性神経毒性試験 [毒 A15] MRID 46202502	100 握力低下及び運動活性低下	25	100
	0.1 (13-49 才女性)	ラット催奇形性試験 [毒 A27] MRID 45458001	35 生存胎児数減少、死亡・吸 収胚増加、後期吸収胚増加、 胎児体重減少及び骨格変異 増加	10	100
JMPR 2013 ⁴⁾	0.3	ラット急性神経毒性試 験 [毒 A15]	100 活動性低下、運動量低下等	25	100

*:EPAの評価書には雄において好酸性変異肝細胞巣の増加が記載されているものの、実際には雄の全投与群におい
てみられておらず、雌の高用量群にのみ増加がみられている。

- 1) EFSA Journal, 2009; 7(12): 1415, CONCLUSION ON PESTICIDE PEER REVIEW Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance triflumizole
- 2) Triflumizole: Human Health Risk Assessment for Registration Review, May 02, 2012, D393221
- 3) Pesticide residues in food 2013. Report of the Joint Meeting of the FAO Panel of Experts on Pesticide Residues in Food and the Environment and the WHO Core Assessment Group. FAO Plant Production and Protection Paper, 219, 2013.

II. 物理的・化学的性状

1. 名称及び化学構造

1) 有効成分の種類名

トリフルミゾール (triflumizole) (ISO名)

2) 別名

商品名：トリフミン

試験名：NF-114

3) 化学名

(E)-4-クロロ- α , α , α -トリフルオロ-N-(1-イミダゾール-1-イル-2-プロポキシエチリデン)-o-トルイジン

(E)-4-chloro- α , α , α -trifluoro-N-(1-imidazol-1-yl)-2-propoxyethylidene)-o-toluidine (IUPAC)

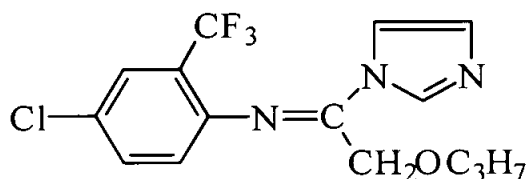
4-クロロ-N-[1-(1H-イミダゾール-1-イル)-2-プロポキシエチリデン]-2-(トリフルオロメチル)-ベンゼンアミン

4-chloro-N-[1-(1H-imidazol-1-yl)-2-propoxyethylidene]-2-(trifluoromethyl)-benzenamine (CA Reg. No. 68694-11-1)

1-[(1E)-1-[[4-クロロ-2-(トリフルオロメチル)フェニル]イミノ]-2-プロポキシエチル]-1H-イミダゾール

1-[(1E)-1-[[4-chloro-2-(trifluoromethyl)phenyl]imino]-2-propoxyethyl]-1H-imidazole (CAS)

4) 構造式



5) 分子式 : $C_{15}H_{15}ClF_3N_3O$

6) 分子量 : 345.75

7) CAS登録番号 : 68694-11-1

2. 有効成分の物理的・化学的性状

- 1) 外観・臭気 : 白色結晶・無臭(目視法及び官能法/㈱日曹分析センター 1999年 GLP)
- 2) 密度 : 1.3473 g/cm³ (20°C) (比重びん法/日本曹達㈱高岡工場・生産技術研究所 1988年)
- 3) 融点 : 62.4°C (液浴付毛細管法/日本曹達㈱高岡工場・生産技術研究所 1988年)

- 4) 沸点 : 測定不能
- 5) 蒸気圧 : 1.91×10^{-4} Pa (25°C) (ガス飽和法/日本曹達(株)安全性研究所 1987年 GLP)
- 6) 溶解度 : 0.0105g/L(蒸留水/20°C)、0.0102g/L(pH7 緩衝液/20°C)、0.0096g/L(pH8 緩衝液/20°C) (フラスコ法/株日曹分析センター 1998年 GLP)
17.6g/L(n-ヘキサン/20°C)、496g/L(メタノール/20°C)、639g/L(キシレン/20°C)、1440g/L(アセトン/20°C)、2220g/L(クロロホルム/20°C)
(フラスコ法/日本曹達(株)安全性研究所 1988年 GLP)
605g/L(n-オクタノール/25°C)、1187g/L(アセトニトリル/25°C)、
1486g/L(酢酸エチル/25°C)、3016g/L(ジクロロメタン/25°C)
(EPA Guideline subdivision D(フラスコ法)/日本曹達(株)安全性研究所 1990年 GLP)
- 7) 解離定数 : $pK_a = 3.7$ (25°C) (分光光度法/日本曹達(株)安全性研究所 1988年 GLP)
- 8) 分配係数(n-オクタノール/水) : $\log P_{ow} = 5.06$ (蒸留水/20°C)、5.10 (pH7 緩衝液/20°C)、5.12 (pH8 緩衝液/20°C) (OECD ガイドライン No. 107/フラスコ振とう法 株日曹分析センター 1998年 GLP)
- 9) 生物濃縮性 : $BCF_K = 699$ (濃度区 $6 \mu\text{g/L}$)、765~1417 (濃度区 $0.6 \mu\text{g/L}$) (NOTOX B.V. (オランダ) 2006年 GLP)
- 10) 土壌吸着係数 : 福島 $K_{oc}' = 2283$ $K = 24.66$ 牛久 $K_{oc}' = 760$ $K = 27.45$
愛知 $K_{oc}' = 2871$ $K = 21.82$ 宮崎 $K_{oc}' = 739$ $K = 11.08$
(OECD 106/日本曹達(株)安全性研究所 1988年)
- 11) 加水分解性 : $t_{1/2} = 8.9$ 日 (pH5 : 25°C)、64.6 日 (pH7 : 25°C)、3.9 日 (pH9 : 25°C)
(EPA 161-1/日本曹達(株)安全性研究所 1987年)
- 12) 水中光分解性 : 緩衝液 (pH7) $t_{1/2} = 2.55$ 日 光強度 = 820W/m^2
測定範囲 = 300~830nm (25°C/12hr キセノンランプ 照射⇄12hr 暗黒)
(EPA § 161-2/日本曹達(株) 安全性研究所 1987年)
- 13) 安定性
 - ①熱安定性
150°Cまで安定(示差熱分析法及び熱重量分析法/株日曹分析センター 1999年 GLP)
 - ②その他
酸・アルカリ安定性
30%水和剤の1500倍相当の濃度における安定性は次のとおりである。

0.1N	水酸化ナトリウム中	半減期	約20分
0.01N	水酸化ナトリウム中	半減期	約70分
0.1N	塩酸中	半減期	約30分
0.01N	塩酸中	半減期	約300分

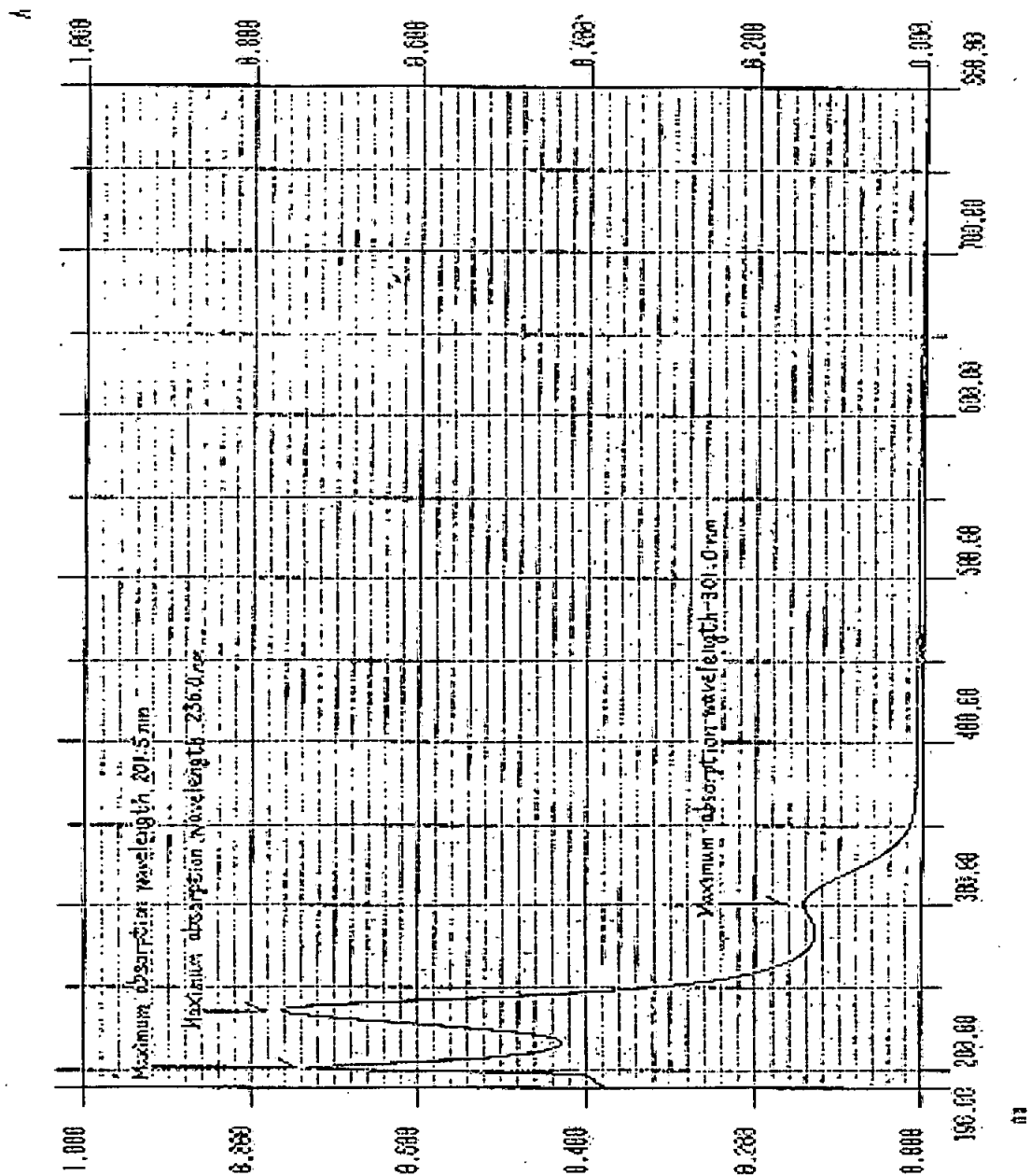
なお、上記両条件下での分解物はFD-1-1であった。
- 14) UV、赤外、MS、NMR(H-, C-)等のスペクトル(OECD 101/株日曹分析センター 1998年 GLP)
別紙参照

別紙

【紫外線吸収スペクトル】

紫外線吸収スペクトル (メタノール溶液)	λ max	
	nm	ε
	201.5	2.53×10^2
	236.0	2.64×10^2
	301.0	4.91×10^3

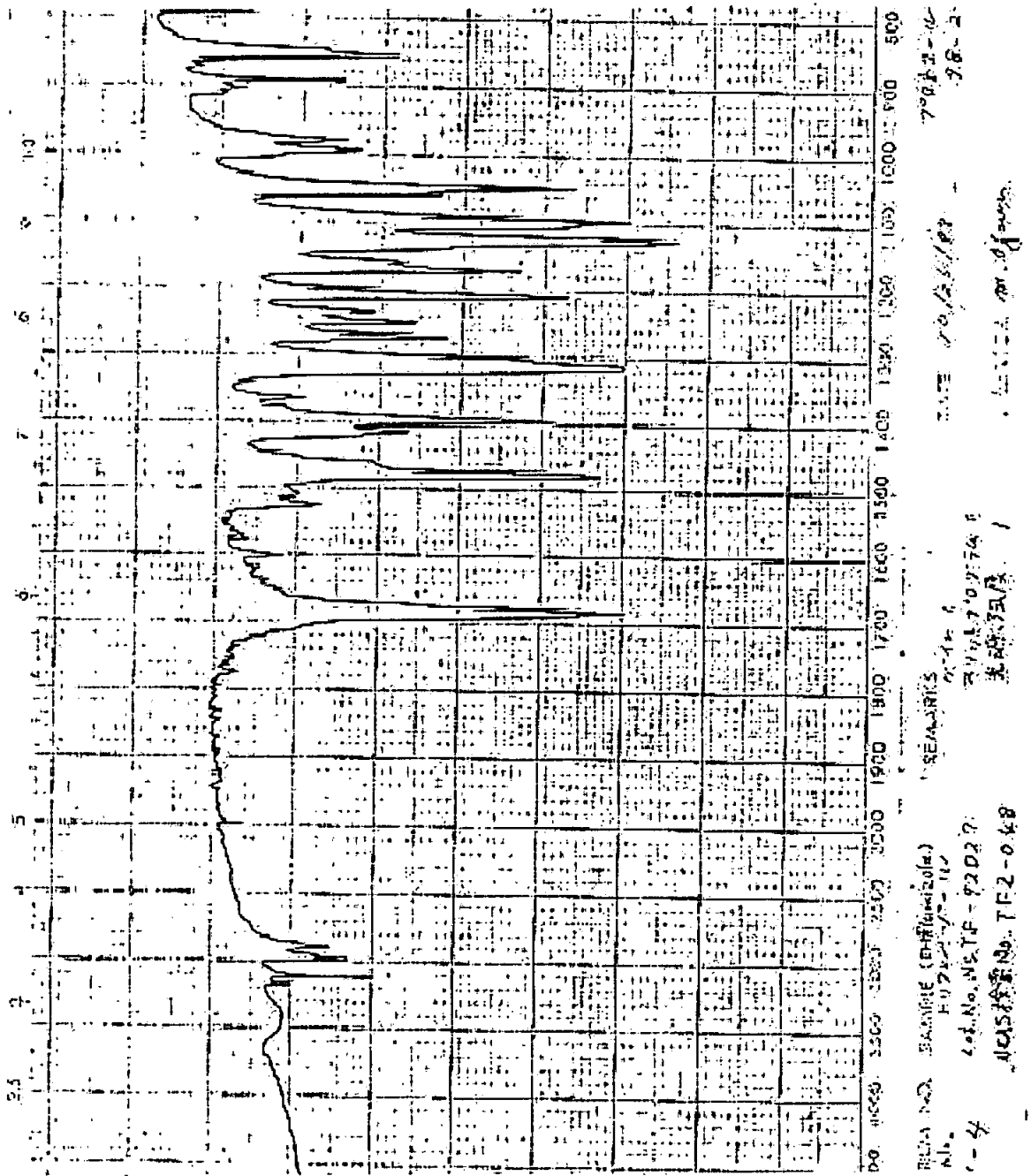
----- PARAMETERS OF SPECTRUM -----
 MEASURING MODE : ABS
 SAMPLING PITCH (Delta λ) : AUTO (0.5 nm)
 SCAN SPEED : MIDDLE
 SLIT WIDTH : 2.0 nm
 SAMPLE NAME : トリアゾミゾール (triflumizole)
 ANALYST : 2/25/99
 COMMENT : 98-243-A (10.00ppm/MeOH)



UV-VIS 吸収スペクトラム

【赤外線吸収スペクトル】

赤外吸収スペクトル(cm ⁻¹)	帰属
1681	C=N 伸縮振動
1479	CH ₃ 逆対称変角振動、CH ₂ 変角振動、C=C 環伸縮振動
1396	CH ₃ 対称変角振動
1319	C-N 伸縮振動
1209	CF ₃ 伸縮振動
1125	C-O-C 逆対称伸縮振動
1096	環 C-H 面内変角振動
1049	環 C-H 面内変角振動
855	環 C-H 面外変角振動

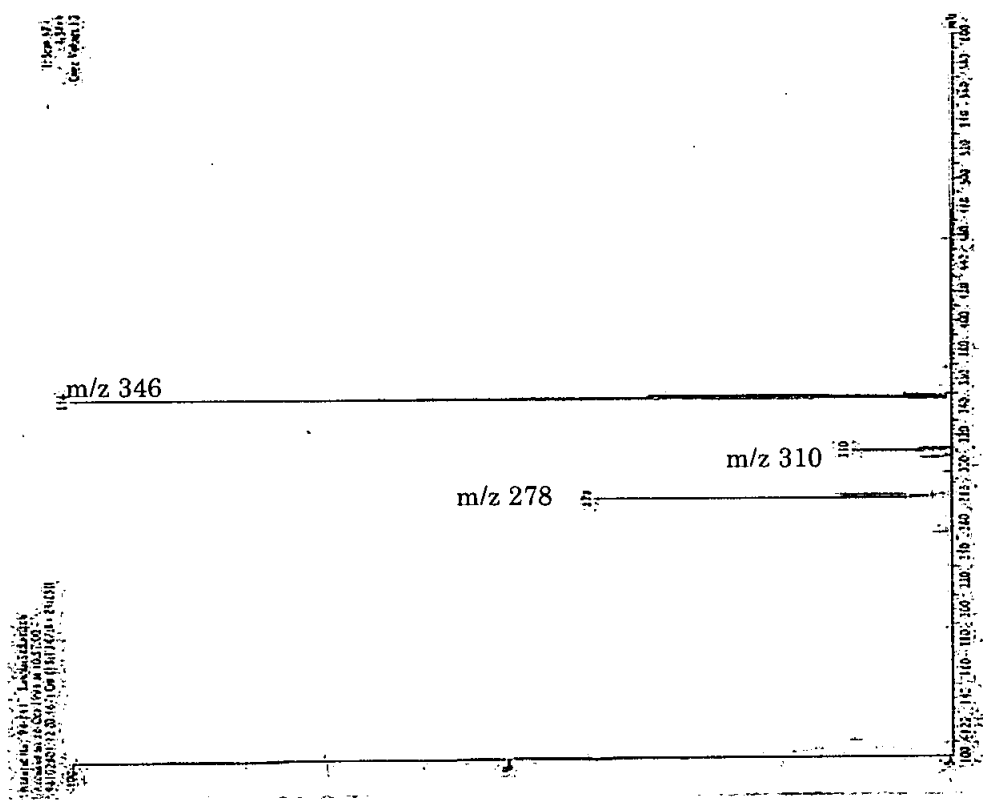


IR 吸収スペクトラム

【MS】

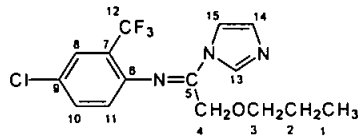
MS	m/z	構造式
	346	M+H
	278	
	310	m/z 278 + CH3OH

LC/MS Conditions
 Protocol No. 98-281
 Sample Identification Tuffinazole
 Lab No. WSTE-22057
 MS No. 172-888
 Test solution No. 170 run # 2 of 1
 Run method LC/MS
 Instrument No. LC/MS-100 with (Shimadzu Packard)
 Instrument MS (Nucleon (Thermo Q-90))
MS Conditions
 Analysis method Q On column
 Column mm (d. x. l. mm)
 Diluent No. Aqueous methanol (100:1)
 Mobile phase Binary Mixture (HPLC Grade)
 Mobile phase ratio 10:90
 Flow rate 1.0 ml/min
 Inlet pressure 100 psi
 Inlet temperature 30
MS Scan Data
 Operation mode 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 Scan temperature 300
 Probe temperature (MS) 300
 Gun voltage 10.00 15.00 20.00
 Scanning rate 10000 20000 30000
 Date 1/21/98 Operator CO



MS スペクトラム

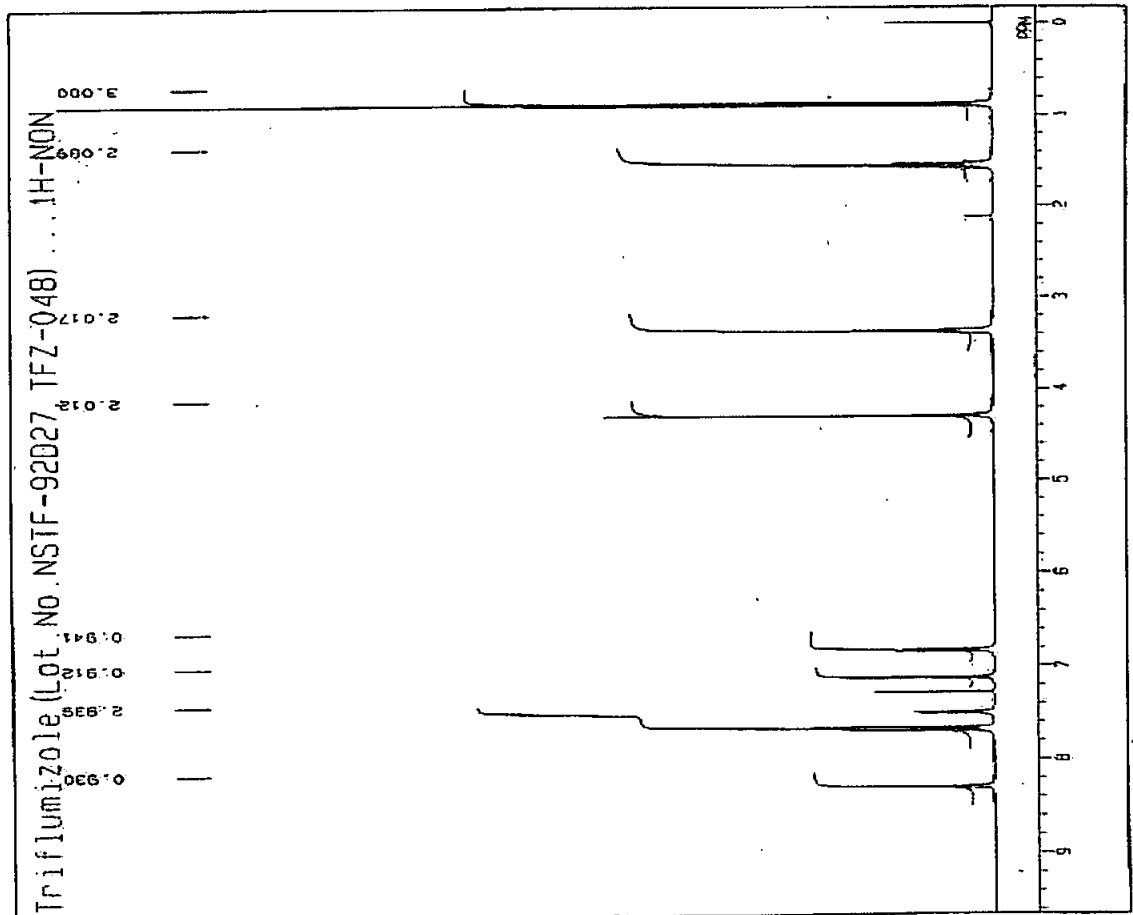
[¹H-NMR]



No.	Chemical shift (ppm)	Multiplicity	No. of hydrogen
H ₁ :	0.88	t	3
H ₂ :	1.55	m	2
H ₃ :	3.36	t	2
H ₄ :	4.29	s	2
H ₆ :	7.66	s	1
H ₁₀ :	7.50	d	1
H ₁₁ :	6.82	d	1
H ₁₃ :	7.12	s	1
H ₁₄ :	7.69	s	1
H ₁₅ :	8.29	s	1

Abbreviation
of multiplicity
s : singlet
d : doublet
t : triplet
q : quartet
m : multiplet

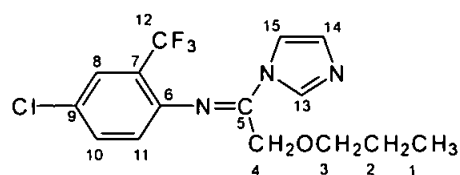
26-OCT-98 10:58:17
OFFLINE SAVING
EXHIBIT SIGNON
DENUC IH
QURE IN 10700.0 HZ
POINT 32758
FREQ 7002.0 HZ
SCANS 8
ACQTH 2.340 SEC
PQ 3.600 SEC
PWL 5.5 US
TRF IN 10300.0 HZ
TRATN 0
LRRPK 50 US
EXREF 0.00 PPM
BF 0.10 HZ
RGAIN 13
XE 3926.7070 HZ
XS 304.9754 HZ
JEBL 686-490
(4-34)
Process/ls. 97-241
10/31/98
T.T.



¹H-NMR スペクトラム

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

【 ^{13}C -NMR】



No.	Chemical shift (ppm)	Multiplicity	Abbreviation of multiplicity
C ₁ :	10.373		s : singlet
C ₂ :	22.589		d : doublet
C ₃ :	73.380		t : triplet
C ₄ :	65.017		q : quartet
C ₅ :	150.137		m : multiplet
C ₆ :	143.146		
C ₇ :	121.939, 122.245	q*	
C ₈ :	126.901, 126.945	q*	
C ₉ :	130.229		
C ₁₀ :	132.622		
C ₁₁ :	122.158		
C ₁₂ :	118.684, 121.399, 124.128, 126.843	q	
C ₁₃ :	136.753		
C ₁₄ :	129.762		
C ₁₅ :	116.684		

26-OCT-98 11:50.48
 OFILE SAVING
 EXACT 566CAL
 QNUC 13C
 OBSIN 10244.0 HZ
 POINT 32755
 FREQU 24038.5 HZ
 SCANS 128
 ACQTM 0.682 SEC
 PD 0.000 SEC
 PNI 5.0 U7
 IRRIN 10300.0 HZ
 IRRPW 43
 EXRES 77.00 PPM
 BF 1.00 HZ
 RGA IN 29
 XE 2197.9000 HZ
 XS -492.9753 HZ

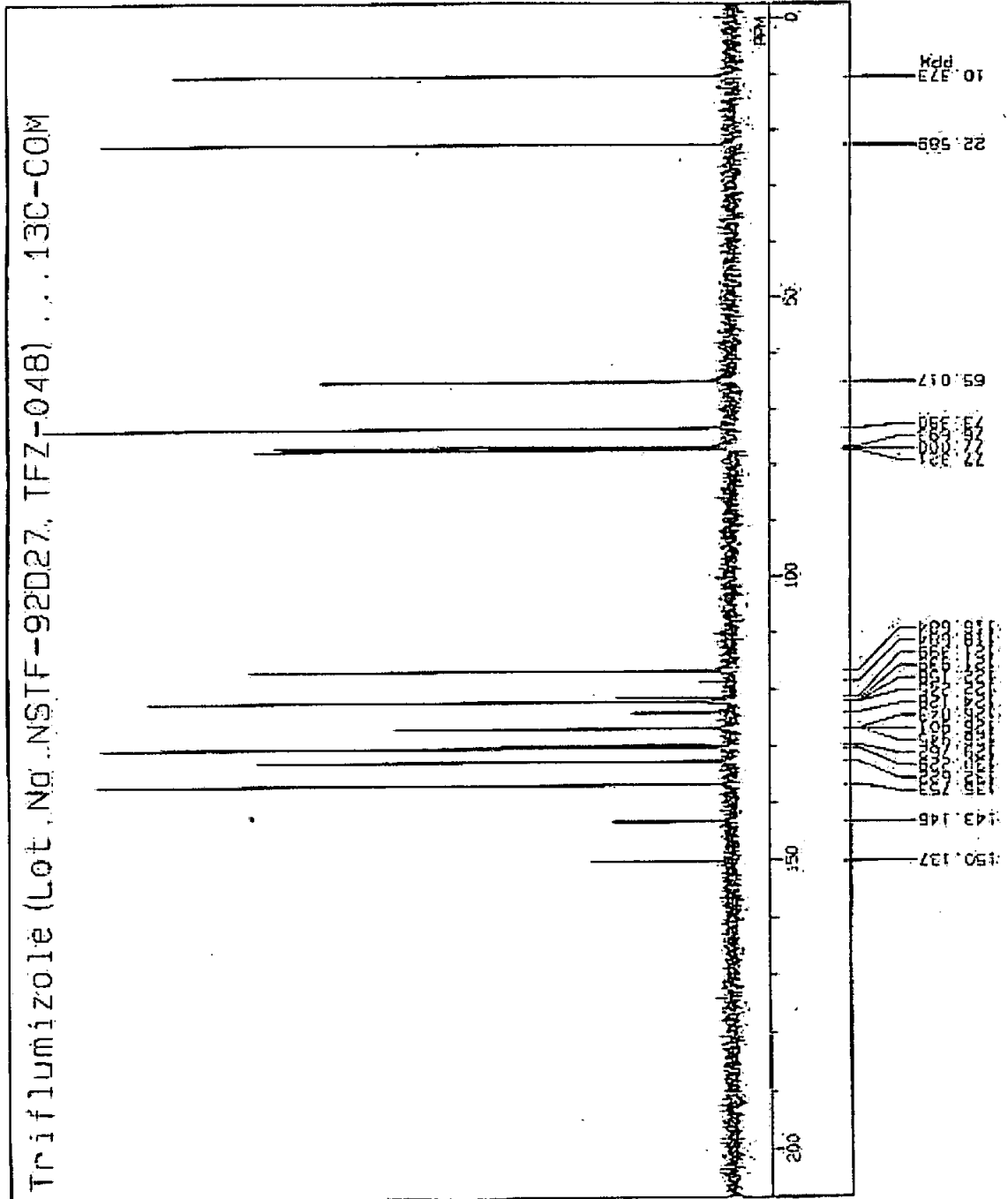
JEL 68x-970

(44-34)

Princ. No. 98-241

198/11/14

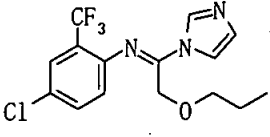
76-7



¹³C-NMR スペクトラム

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

3. 原体の成分組成

区分	名称		構造式	分子式	分子量	含有量 (%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又はレンジ
有効成分	トリフミゾール	(E)-4-クロロ- α, α, α -トリフルオロ-N-(1-イミダゾール-1-イル-2-プロポキシエチル)-オトマイゾン		$C_{15}H_{15}ClF_3N_3O$	345.75		
原体 混 在 物							

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

区分	名 称		構造式	分子式	分子量	含有量 (%)	
	一般名	化学名				規格値	通常値 又はワグ
原 体 混 在 物							

4. 製剤の組成

1) トリフミン水和剤

トリフルミゾール	30.0	%
界面活性剤、鉍物質微粉 等	70.0	%

2) トリフミンジェット

トリフルミゾール	10.0	%
鉍物質微粉、発熱剤 等	90.0	%

3) ルミライト水和剤

チオファネートメチル	45.0	%
トリフルミゾール	15.0	%
界面活性剤、鉍物質微粉 等	40.0	%

4) トリフミン乳剤

トリフルミゾール	15.0	%
有機溶剤、界面活性剤 等	85.0	%

5) トップティ水和剤

チオファネートメチル	45.0	%
トリフルミゾール	15.0	%
界面活性剤、鉍物質微粉 等	40.0	%

6) 住化トリフミンスターナSE

オキシリニック酸	20.0	%
トリフルミゾール	10.0	%
有機溶剤、水、界面活性剤 等	70.0	%

7) クリアパッチDF

トリフルミゾール	50.0	%
界面活性剤、鉍物質微粉 等	50.0	%

8) パンチョTF顆粒水和剤

シフルフェナミド	3.4	%
トリフルミゾール	15.0	%
界面活性剤、鉍物質微粉 等	81.6	%

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

9) パンチョTFジェット		
シフルフェナミド	2.0	%
トリフルミゾール	10.0	%
塩素酸カリウム	12.5	%
鉍物質、発熱剤等	75.5	%

III. 生物活性

1. 活性の範囲

本剤は下記に示すような糸状菌類に活性を有している。

i) 子のう菌綱

・うどんこ菌科

Sphaerotheca属 (うり科、なす、たばこ、ばら、いちご：うどんこ病)

Erysiphe属 (麦類、えんどう：うどんこ病)

Uncinula属 (ぶどう：うどんこ病)

Phyllactinia属 (なし、かき：うどんこ病)

Podosphaera 属 (りんご：うどんこ病)

Leveillula属 (ピーマン：うどんこ病)

・ネクトリア菌科 Gibberella属 (麦類：赤かび病、水稻：馬鹿苗病)

・プレオスポラ菌科 Venturia属 (りんご、梨：黒星病)

Pyrenophora 属 (大麦：斑葉病)

ii) 担子菌綱

・黒穂病菌科 Ustilago属 (麦類：裸黒穂病)

・腥黒穂病菌科 Tilletia属 (麦類：腥黒穂病)

・柄生さび菌科 Gymnosporangium 属 (りんご、梨：赤星病)

Puccinia属 (きく：白さび病)

・もち病菌科 Exobasidium 属 (茶：もち病)

iii) 不完全菌綱

・分生孢子層菌科 Gloeosporium属 (茶：炭そ病)

・暗色分生孢子層菌科 Cladosporium属 (トマト：葉かび病)

Helminthosporium属 (水稻：ごま葉枯病)

・無色分生子柄菌科 Monilia 属 (もも：灰星病)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

2. 作用機構

橋本ら〔昭和58年度日本植物病理学会大会発表、“90年代の農薬工業”：シーエムシー社（1983）〕は、本剤が子のう菌類、不完全菌類に強い菌糸伸長阻害を示すこと、分生胞子の発芽管に膨化や異状分岐を引き起こすこと、またうどんこ病菌に対しては、胞子発芽、付着器形成、侵入には影響をおよぼさないが吸器指状突起の発育を強く阻害したこと等を報告し、これらの作用性はすでに加藤ら〔農薬：ソフトサイエンス社（1979年）〕の総説にあるように含窒素（N）ヘテロ環化合物殺菌剤の作用性と類似している。

これらより、本剤の作用機構は、糸状菌細胞膜の構成成分であるエルゴステロール（脂質）の生合成を阻害し、結果として、糸状菌細胞の膜構造を破壊することによって病原菌の生育を阻止することにあると考えられる。

このことは、本剤がエルゴステロール生合成系を持たないとされている藻菌類に起因する病害にはほとんど効力を示さないことから支持されている。

3. 作用特性と防除上の利点

日植防委託試験、各県試験場、大学、日本曹達（株）生物科学研究所における薬効・薬害試験および特性試験において、下記のことが明らかになっている。

- i) 本剤は予防散布で優れた効果を示す他、病原菌侵入後散布においても病斑の拡大阻止力や胞子形成阻止力があり、治療性、伝染防止効果に優れている。
- ii) 本剤は茎葉への浸透性に優れ、すでに植物体内に侵入している病原菌に作用し、蔓延拡大阻止効果を確実なものにする。しかしながら散布茎葉以外への浸透移行性は少ない。
- iii) 他剤（ベンツイミダゾール系殺菌剤）に耐性となった病原菌にも優れた効果がある。一方、本剤を5年間連続して合計20回同一圃場に散布しても現在のところ耐性菌が出現しないことが確認されている。
- iv) 本剤は低濃度（果樹：2000倍～3000倍、野菜：3000倍～5000倍）散布で使用できるため残留量が少なく、また薬剤による作物の汚れがない。
- v) 本剤は、りんごにおいて、黒星病、うどんこ病、赤星病に対し、本剤のみで防除可能であるなどスペクトラムの幅が広い特性がある。上述したように、治療性にも優れていることもあり、これらより、散布回数の減少および投下薬剤量の節約にもつながり農家の労働力節減、コストダウンに寄与できる利点がある。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

IV. 適用及び使用上の注意

1. 適用病害虫の範囲及び使用方法

【トリフミン水和剤(トリフルジール 30%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルジールを含む農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 うどんこ病 赤星病	2000～ 3000 倍	200～ 700L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
なし	黒星病 赤星病						
かき	うどんこ病	2000～ 3000 倍					
	黒点病	2000 倍					
ぶどう	うどんこ病	2000～ 3000 倍		収穫 7 日前まで			
	黒とう病	2000 倍		収穫前日まで			
もも	灰星病 黒星病	1000～ 1500 倍			収穫前日まで		
	うどんこ病	1500～ 2000 倍					
すもも		1000 倍		収穫 14 日前まで	2 回以内	3 回以内	2 回以内
おうとう	灰星病	1000～ 1500 倍					
うめ	黒星病	2000 倍					
いちじく	株枯病	500 倍	1L/株	定植時及び 生育期但し、 収穫 30 日前まで	6 回以内	灌注	6 回以内 (散布は 3 回以内)
	さび病 そうか病	2000 倍	200～ 700L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
マルメロ	赤星病			収穫 14 日前まで			
かりん				収穫前日まで			
あけび(果実) マンゴー	うどんこ病			収穫 3 日前まで 収穫 7 日前まで			
稲	ごま葉枯病 いもち病 ばか苗病	30 倍	—	浸種前	1 回	10 分間 種子浸漬	1 回
		300 倍				24～48 時間 種子浸漬	
		乾燥籾重 量の 0.5%				種子粉衣 (湿粉衣)	
		7.5～15 倍				乾燥種籾 1kg 当り 30mL	

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数	
麦類	斑葉病 裸黒穂病 なまぐさ黒穂病 網斑病	種子重量 の0.5%	—	は種前	1回	種子粉衣	3回以内 (種子粉衣は 1回以内)	
	うどんこ病 赤かび病	1000～ 2000倍	60～ 150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布		
とうもろこし (子実)	すす紋病	2000倍	—	収穫30日前まで				
未成熟とうもろこし	—	—	—	収穫7日前まで				
いちご	じゃのめ病	3000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内	
	メロン	うどんこ病						3000～ 5000倍
—		陥没病						3000倍
すいか さやえんどう 実えんどう ピーマン	うどんこ病	3000～ 5000倍						
								きゅうり
かぼちゃ	うどんこ病	3000～ 5000倍						—
	—	フザリウム立枯病	種子重量 の0.3%					
にがうり	うどんこ病	3000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
うり類(漬物用)	うどんこ病	3000～ 5000倍		収穫前日まで	5回以内		散布	5回以内
	—			つる枯病 炭疽病				
トマト	葉かび病	3000倍		収穫前日まで				
ミニトマト	すすかび病							
なす	うどんこ病	3000～ 5000倍		—	収穫前日まで		3回以内	3回以内
	—	すすかび病	3000倍					
しそ	さび病	5000倍	—	収穫開始 10日前まで	3回以内	3回以内		
ねぎ	萎凋病	50倍	—	定植直前	1回	5～30分間 苗根部浸漬	1回	
		200倍	セル成型育苗ト レイ1箱または ペーパーポット 1冊 (30×60cm、 使用土壌約 5L)当り1L	定植前		苗床灌注		

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数	
たまねぎ	乾腐病	50 倍	—	定植直前	1 回	5 分間 苗根部浸漬	1 回	
		50～ 100 倍	セル成型育苗ト レイ 1 箱または ペーパーポット 1 冊 (30×60cm、 使用土壌 約 5L) 当り 0.5L	定植前		苗床灌注		
okra	黒斑病 うどんこ病	5000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内	
こんにゃく	乾腐病	50 倍	種いも 1 m ² 当り 150mL	植付前	1 回	種いもの芽 基部に散布	1 回	
らっきょう			—			5～30 分間 種球浸漬		
しょうが	白星病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	アスパラガス		立枯病	3L/m ²				収穫 7 日前まで
食用ゆり	鱗茎さび症	50 倍	—	植付前	1 回	灌注 種球 瞬間浸漬	1 回	
とうがらし類	うどんこ病	4000～ 5000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	5 回以内	散布	5 回以内	
ごぼう		1000 倍						3 回以内
にんじん		3000 倍		収穫 14 日前まで				
ふき		8000 倍		収穫 30 日前まで	1 回			1 回
パセリ		2000 倍		収穫前日まで	2 回以内			2 回以内
セルリー <拡大申請中>*	斑点病	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
葉しょうが	白星病	1000 倍		収穫 14 日前まで				
にら	さび病	2000 倍		収穫前日まで				
にんにく	葉枯病	2000 倍		収穫前日まで				
茶	炭疽病	1500～ 2000 倍	200～ 400L/10a	摘採 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
	もち病	1000～ 1500 倍						
チューリップ	球根腐敗病	球根重量 の 0.2%	—	植付前	1 回	球根粉衣	1 回	

*平成 26 年 3 月 27 日申請(要基準値設定)

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
ばら	うどんこ病	3000～5000倍	100～300L/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内
きく	白さび病	1000倍					
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	うどんこ病	3000倍					
樹木類							
たばこ		5000倍	25～180L/10a	収穫10日前まで	2回以内		2回以内

【トリフミンジェット(トリフルミゾール10%)】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
きゅうり いちご ピーマン ししとう メロン すいか さやえんどう 実えんどう	温室、 ビニールハウス等 密閉できる 場所	うどんこ病	くん煙室容積 400 m ³ (高さ2m、 床面積200 m ²) 当り 50g	収穫前日 まで	5回以内		5回以内
なす		うどんこ病 すすかび病					
トマト ミニトマト		葉かび病					
ズッキーニ		うどんこ病					
こんにゃく		乾腐病	くん煙室容積 2 m ³ (高さ2m、 床面積1 m ²) 当り 50～100g	植付前	1回	くん煙	1回
ばら		うどんこ病	くん煙室容積 400 m ³ (高さ2m、 床面積200 m ²) 当り 50g	—	5回以内		5回以内
きく		白さび病	くん煙室容積 400 m ³ (高さ2m、 床面積200 m ²) 当り 100g				
チューリップ		球根腐敗病	くん煙室容積 1 m ³ 当り 50g	植付前	1回		1回

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

【ルミライト水和剤(チオファネートメチル 45%、トリフルミゾール 15%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
りんご	モニア病 (実腐れ)	1000 倍	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	10 回以内 (塗布は 3 回以内、 灌注は 1 回以内、 散布は 6 回以内)	3 回以内
なし	黒星病 赤星病 うどんこ病 輪紋病		収穫前日まで			11 回以内 (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は 1 回以内、 灌注は 1 回以内、 生育期の散布は 6 回以内)	
もも	灰星病 黒星病					10 回以内 (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は 1 回以内、 生育期の散布は 6 回以内)	
かき	うどんこ病 落葉病					10 回以内 (塗布は 3 回以内、 休眠期の散布は 1 回以内、 生育期の散布は 6 回以内)	
いちじく	株枯病	500 倍	定植時および 5～10 月 但し収穫 30 日 前まで	6 回以内	1 株当り 1L 灌注	14 回以内 (塗布は 3 回以内、 灌注は 6 回以内、 散布は 5 回以内)	6 回以内 (散布は 3 回以内)
トマト ミニトマト	葉かび病	1500～ 2000 倍	収穫前日まで	5 回以内	散布	6 回以内 (種子への処理は 1 回以内、 は種後は 5 回以内)	5 回以内
なす	すすかび病	1500 倍					

【トリフミン乳剤(トリフルミゾール 15%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病 ごま葉枯病 いもち病	30 倍	浸種前	1 回	10 分間種子浸漬	1 回
		300 倍			24～48 時間種子浸漬	
		5～10 倍 (使用量は 乾燥種籾 1kg 当り 希釈液 30ml)			種子吹き付け処理 (種子消毒機使用) 又は 塗沫処理	
小麦	赤かび病 うどんこ病	1000 倍	収穫 3 日 前まで	3 回以内	散布	3 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)
きゅうり	うどんこ病	2000 倍	収穫前日 まで	5 回以内		5 回以内
なす	うどんこ病 すすかび病					
トマト	葉かび病					
きく	白さび病	1000 倍	—	—	—	—
こんにゃく	乾腐病	30 倍	植付前	1 回	種いもの芽基部に散布	1 回
チューリップ	球根腐敗病				10 分間球根浸漬	

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

【トップティ水和剤(チオファネートメチル 45%、トリフルミゾール 15%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数	
芝 (日本芝)	葉腐病(ラージパッチ)	500倍	発病初期	8回以内	1㎡当り 1L 散布	8回以内	8回以内	
	さび病 ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブラリア葉枯病	500～ 1000倍			1㎡当り 0.5～1L 散布			
芝 (ヘントグラス)	ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブラリア葉枯病 ダラースポット病 葉腐病(フラウンパッチ) 炭疽病							1㎡当り 1L 散布
	立枯病 (テイクオールパッチ)							

【住化トリフミンスターナSE(枯リニク酸 20%、トリフルミゾール 10%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	枯リニク酸を含む農薬の総使用回数	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
稲	ごま葉枯病 もみ枯細菌病 ばか苗病 褐条病 苗立枯細菌病 いもち病	20倍	浸種前	1回	10分間 種子浸漬	3回以内 (種もみへの処理は 1回以内、 は種後は 2回以内)	1回
		200倍			24時間 種子浸漬		
		7.5倍 (使用量は 乾燥種籾 1Kg 当り 希釈液 30mL)			種子吹きつけ 処理(種子消毒 機使用)又は塗 沫処理		

【クリアパッチDF(トリフルミゾール 50%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフルミゾールを含む農薬の総使用回数
芝(日本芝)	さび病	1000倍	発病初期	8回以内	1㎡当り 200ml 散布	8回以内
芝(ヘントグラス)	ヘルミントスポリウム葉枯病 カーブラリア葉枯病	1000～ 2000倍			1㎡当たり 500ml 散布	
	ダラースポット病	1000倍				
	炭疽病	1000～ 2000倍				

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

【パンチョTF顆粒水和剤(シルフエナミド[®] 3.4%、トリフルゾール 15.0%)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シルフエナミドを含む農薬の総使用回数	トリフルゾールを含む農薬の総使用回数
麦類	うどんこ病	2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内 (種子粉衣は1回以内)
メロン いちご きゅうり すいか なす ピーマン								5回以内
かぼちゃ			100～300L/10a	収穫前日まで				5回以内 (種子粉衣は1回以内)
にがうり								3回以内
トマト ミニトマト うり類(漬物用)								5回以内
りんご			200～700L/10a	収穫7日前まで				3回以内
おうとう			灰星病	700L/10a				収穫14日前まで
スッキーニ	うどんこ病	4000倍		収穫前日まで	2回以内	5回以内	4回以内	
まさき さるすべり		2000倍	100～300L/10a	—			2回以内	
花き類・ 観葉植物							5回以内	

【パンチョTFジェット(シルフエナミド[®] 2%、トリフルゾール 10%)】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シルフエナミドを含む農薬の総使用回数	トリフルゾールを含む農薬の総使用回数
いちご きゅうり メロン トマト	温室・ビニールハウス等 密閉できる場所	うどんこ病	くん煙室容積 400㎡(床面積200㎡× 高さ2m) 当り50g	収穫前日まで	2回以内	くん煙	2回以内	5回以内
花き類・ 観葉植物					5回以内			

2. 使用上の注意事項

【トリフミン水和剤(トリフミンザール 30%)】

- (1) 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意すること。
 - ① 内袋はぬれた手で触れないこと。
 - ② 外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切ること。
 - ③ 薬液の調製は容器内に所定量の水 3 分の 1 程度を入れた後、必要量の内袋を開封せずそのまま容器に投入する。その後容器内に水を定量まで加えた後よく攪拌すること。
- (2) かきの黒点病に対しては、多発時には効果が劣る場合があるので、注意すること。
- (3) なしの品種「幸水」に使用する場合は、樹勢が弱いと高濃度で葉に軽度な黄斑を生ずる場合があるので、所定範囲内の低濃度で使用する。
- (4) なしに使用する場合は、MEP 剤との混用により薬害を生ずるおそれがあるのでさけること。
- (5) いちじくの株枯病に対して灌注処理する場合は、1 ヶ月間隔で使用する事が望ましい。
- (6) うり類の幼苗期には、濃緑化症状および生育抑制が生ずることがあるので、使用しないこと。
- (7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (8) スイトピーに使用する場合は、薬害が生ずるおそれがあるので、開花期以降は使用をさけること。
- (9) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10) 本剤をりんごに使用する場合は、黒星病、赤星病及びうどんこ病の防除を主体とし、斑点落葉病に対しては落花後 20 日頃までの初期防除剤として使用する。
- (11) チューリップの球根粉衣に使用する場合は、適当な容器内で球根に本剤を均一に粉衣してから植付けること。
- (12) 本剤を水稻の種子消毒に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ① 種子消毒は浸種前に行うこと。
 - ② 浸漬処理の場合、籾と処理薬液の容量比は 1 : 1 以上とし、種籾はサラ網など荒目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
 - ③ 粉衣処理の場合は、付着をよくするため、湿粉衣とすること。
 - ④ 吹き付け処理の場合は、種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥すること。
 - ⑤ 処理した種籾は、風乾後、水洗いせずに浸種すること。
 - ⑥ 消毒後の浸種は水槽で行い、水の交換は原則として最初の 2 日間を行なわないこと。その後換水する場合は静かに行なうこと。
 - ⑦ 粉衣処理、高濃度浸漬(30 倍)及び吹き付け処理をした種子を播種する場合は、浸種終了後、浸種液中で過度の付着薬剤をゆすぎおとすこと。
 - ⑧ 軽度の初期生育遅延が認められる場合もあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (13) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

【トリフミンジェット(トリフルミゾール10%)】

- (1) 温室、ガラス室、ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が万べんなく行きわたるようにすること。
- (2) くん煙する場合は、添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙すること。吊具および電気式点火・くん煙装置は吊り下げるか又は不燃性の台などの上に乗せて使用すること。なお、植物体、可燃物から離れた中央の安全な場所に設置すること。とくにビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用すること。
- (3) 点火は以下のとおりに行なうこと。
 - ① 点火紙を用いる場合、
同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上に乗せて点火すると炎が出るので避けること。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消すこと。
点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置すること。
 - ② 電気式点火・くん煙装置を使用する場合
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認の上、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電すること。
点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置すること。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置すること。
 - ③ 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らないこと。
- (4) 日中のくん煙は避け、夕刻からくん煙し、翌朝開放すること。
- (5) 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないこと。
- (6) 定植直後又は幼苗、軟弱徒長苗等には薬害を生ずるおそれがあるので使用はさけること。
- (7) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【ルミライト水和剤(チオファネートメチル45%、トリフルミゾール15%)】

- (1) 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきること。
- (2) ボルドー液、銅水和剤等の無機銅剤との混用は避けること。
- (3) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (4) なしに使用する場合は、MEP剤、PMP剤との混用は薬害を生ずる恐れがあるので避けること。
- (5) 本剤は連続使用によって一部の病害に耐性菌を生ずる恐れがあるので、なるべく作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等、関係機関の指導を受けることが望ましい。

【トリフミン乳剤(トリフルミゾール 15%)】

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
2. 本剤を稲の種子消毒に使用する場合には次の注意事項を守ること。
 - (1) 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗いせずに浸種すること。
 - (2) 浸漬処理の場合、籾と処理薬液の容量比は 1:1 以上とし、種籾はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
 - (3) 薬液の温度は極端な低温を避けること。
 - (4) 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥すること。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種籾を攪拌しながら薬液を滴下するなどして、種籾に均一に付着させること。
 - (5) 本剤の処理を行った種籾を浸種する場合は、次の事項を守ること。
 - ① 浴比は 1:2 とし、停滞水中で浸種すること。
 - ② 河川、湖沼、ため池などでは浸種しないこと。
 - (6) 本剤の処理により軽度の初期成育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
3. うり類の幼苗期には、濃緑化症状および生育抑制が生ずることがあるので、使用しないこと。
4. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

【トップティ水和剤(チオファネートメチル 45%、トリフルミゾール 15%)】

- 1) ボルドー液、銅水和剤等の無機銅剤との混用はさけること。
- 2) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 3) 本剤は連続使用によって一部の病害に耐性菌を生ずる恐れがあるので、なるべく作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用すること。
- 4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等、関係機関の指導を受けることが望ましい。

【住化トリフミンスターナSE(オキリニック酸 20%、トリフルミゾール 10%)】

- (1) 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は風乾し、水洗いせずに浸種すること。
- (2) 浸漬処理の場合、籾と処理液の容量比は 1 : 1 以上とし、種籾はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
- (3) 薬液の温度は極端な低温を避けること。
- (4) 吹きつけ処理の場合は種子消毒機を使用し、種籾に均一に付着させて乾燥すること。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種籾を攪拌しながら薬液を滴下するなどして、種籾に均一に付着させること。
- (5) 本剤の処理を行った種籾を浸種する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ① 籾と水の容量比は 1:2 とし、停滞水中で浸種すること。
 - ② 河川、湖沼、ため池などでは浸種しないこと。
- (6) 本剤の処理により軽度の初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- (7) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (8) いもち病に対する種子吹きつけ処理又は塗沫処理では、効果がやや劣る場合があるので注意すること。
- (9) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に始めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

【クリアパッチDF(トリフルゾール50%)】

- (1) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (2) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【パンチョTF顆粒水和剤(シフルエナト 3.4%、トリフルゾール15.0%)】

- (1) 本剤は顆粒がかたまりになって溶けにくくなる場合があるので薬液調製の際はよく攪拌すること。なお、かたまつた本剤を希釈して使用しても品質及び効果に問題はない。
- (2) うり類の幼苗期には、濃緑化症状および生育抑制が生ずることがあるので、使用しないこと。
- (3) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用すること。
- (4) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (5) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
- (6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【パンチョTFジェット(シフルエナト 2%、トリフルゾール10%)】

- (1) 温室、ガラス室、ビニールハウス等防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を除き、室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が万遍なく行きわたるようにすること。
- (2) くん煙する場合は、添付の吊具又は所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙すること。吊具および電気式点火・くん煙装置は吊り下げるか又は不燃性の台などの上にのせて使用すること。なお、植物体、可燃物から離れた中央の安全な場所に設置すること。とくにビニール等の被覆材とは60cm以上離れた位置で使用すること。
- (3) 点火は以下のとおりに行なうこと。
 - ① 点火紙を用いる場合、
同封の点火紙を吊具の所定の位置に正しく設置しその上に薬剤をのせてから点火紙に点火する。点火紙を薬剤の上にのせて点火すると炎が出るので避けること。
発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消すこと。
点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置すること。
 - ② 電気式点火・くん煙装置を使用する場合
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認の上、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電すること。
点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置すること。
発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置すること。
 - ③ 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らないこと。
- (4) 定植直後又は幼苗、軟弱徒長苗等には薬害を生ずるおそれがあるので使用はさけること。
- (5) 高温時のくん煙は薬害を生じる恐れがあるので、日中のくん煙は避け、夕方からくん煙し、翌朝開放すること。
- (6) 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないこと。
- (7) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用すること。
- (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (9) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。

3. 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

【トリフミン水和剤(トリフルミゾール 30%)】

この登録に係る使用方法では該当がない。

【トリフミンジェット(トリフルミゾール 10%)】

この登録に係る使用方法では該当がない。

【ルミライト水和剤(チオファネートメチル 45%、トリフルミゾール 15%)】

この登録に係る使用方法では該当がない。

【トリフミン乳剤(トリフルミゾール 15%)】

この登録に係る使用方法では該当がない。

【トップティ水和剤(チオファネートメチル 45%、トリフルミゾール 15%)】

水産動植物(魚類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。

【住化トリフミンスターナSE(オキソニック酸 20%、トリフルミゾール 10%)】(整備予定)

本剤は水産動物に影響を及ぼすので、使用残液及び容器の洗浄水等は直接河川等に流さないこと。

【クリアパッチDF(トリフルミゾール 50%)】

この登録に係る使用方法では該当がない。

【パンチョTF顆粒水和剤(シフルフェナミド 3.4%、トリフルミゾール 15.0%)】

この登録に係る使用方法では該当がない。

【パンチョTFジェット(シフルフェナミド 2%、トリフルミゾール 10%)】(整備予定)

この登録に係る使用方法では該当がない。

V. 残留性及び環境中予測濃度算定関係

1. 作物残留

植物代謝研究の結果から、親化合物（トリフルミゾール）および代謝物を標的分析化合物として、個別定量法と同一の誘導体に変換する分析法を確立した。

(1) 分析法の原理と操作上の留意点

抽出後、
に転溶し、カラムクロマトグラフィーで精製後、
両化合物を高速液体クロマトグラフィーで定量する（個別法）。

抽出後、
に転溶し、両化合物を
に変換し、カラムクロマトグラフィーで精製後、高速液体クロマトグラフィーで定量する（FD法）。

(2) 分析対象の化合物

(E) -4- クロロ- α , α , α - トリフルオロ-*N*- (1-イミダゾール-
1-イル-2- プロポキシエチリデン) -*o*-トルイジン

$C_{15}H_{15}ClF_3N_3O$ M.W. 345.8 (トリフルミゾール)

(3) 残留試験結果（両方法の比較を含む）

実圃場にトリフルミゾール30%水和剤を散布した各種作物における均質化した同一サンプルを、両方法により分析した結果は、次表のとおりである。

これらの結果、個別法とFD法の違いがなく、両方法共、本剤の分析法として有効である事が確認された。両方法を用いた残留試験の結果は次頁に示した。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

個別法とFD法による同一均質サンプル分析値比較表

(*トリフルミゾール換算値 ppm)

作物名	剤型 希釈倍数 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析方法			
					個別法		FD法	
					トリフルミゾール		合計*	トリフルミゾール+
りんご (露地)	30%水和剤 2000倍 600L/10a 散布	青森 りんご試	8	1	0.13	0.03	0.16	0.18
もも (露地)	30%水和剤 1000倍 800L/10a 散布	山梨果試	3	1	0.07	0.06	0.13	0.13
					8.80	0.84	9.64	10.7
いちご (施設)	30%水和剤 3000倍 150L/10a 散布	埼玉植防	5	1	0.08	0.04	0.12	0.10
				3	0.04	0.02	0.06	0.06
茶 (製茶)	30%水和剤 1000倍 200L/10a 散布	京都茶研	3	7	50.1	15.3	65.4	61.7
トマト (施設)	30%水和剤 3000倍 300L/10a 散布	大阪 農技センター	5	1	0.53	0.10	0.63	0.62
				3	0.42	0.11	0.53	0.48
				7	0.50	0.22	0.72	0.72
大麦 (露地)	0.5%種子粉衣 及び 30%水和剤 1000倍 150L/10a 3回散布	日植防研 茨城	4	7	0.25	0.15	0.40	0.38
				14	0.12	0.06	0.18	0.22
				21	0.04	<0.02	0.06	0.06
ピーマン	30%水和剤 3000倍 200L/10a 散布	三重 農技センター	5	1	0.08	<0.02	0.10	0.10
				3	0.03	<0.02	0.05	0.04
				7	0.02	<0.02	0.04	0.02
	30%水和剤 3000倍 70L/10a 散布	日曹榛原 農場(C)*1	5	1	0.40	0.08	0.48	0.50
				3	0.31	0.08	0.39	0.41
				7	0.10	<0.02	0.12	0.13
なす	30%水和剤 300倍 200L/10a 散布	日曹榛原 農場	5	1	0.07	<0.02	0.09	0.08
				3	0.05	<0.02	0.07	0.06
				7	0.03	<0.02	0.05	0.03

*1 試験区名

分析実施場所：日本曹達（株）ファインケミカル研究所

現在の名称は㈱日曹分析センターである。

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

〔一覧表目次〕

作物名	頁
水稻(玄米、稲わら)	残留-5
水稻(玄米、稲わら)、小麦	残留-6
大麦、とうもろこし	残留-7
未成熟とうもろこし、こんにやく	残留-8
こんにやく、ごぼう	残留-9
ふき、たまねぎ	残留-10
ねぎ、葉ねぎ	残留-11
根深ねぎ、にんにく	残留-12
にら、アスパラガス	残留-13
食用ゆり、らっきょう	残留-14
にんじん、セルリー	残留-15
パセリ、トマト	残留-16
トマト	残留-17
トマト	残留-18
ミニトマト	残留-19
ピーマン	残留-20
ピーマン、なす	残留-21
なす	残留-22
なす、とうがらし類	残留-23
ししとう	残留-24
きゅうり	残留-25
きゅうり	残留-26
かぼちゃ、ズッキーニ	残留-27
しろうり、すいか	残留-28
すいか、メロン	残留-29
メロン、まくわうり	残留-30
とうがん、にがうり	残留-31
オクラ、しょうが	残留-32
しょうが、葉しょうが、さやえんどう	残留-33
さやえんどう	残留-34
実えんどう	残留-35
りんご、なし	残留-36
マルメロ、もも(果肉)	残留-37

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

作物名	頁
もも(果肉、果皮)	残留-38
もも(果皮)、すもも	残留-39
うめ、おうとう	残留-40
いちご	残留-41
いちご	残留-42
ぶどう	残留-43
かき、マンゴー	残留-44
あけび、いちじく	残留-45
かりん、茶(製茶)	残留-46
茶(浸出液)、しそ	残留-47

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)						
					公的分析機関				社内分析機関		
					(財)残留農薬研究所(No. 1)				日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 1)		
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
水稻 (露地) (玄米) S60年度	水和剤(30%) a) 20倍 10分間 浸漬	山形農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005
			1a	158	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005
			1b	156	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005
			1c	158	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005
		千葉農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005
			1a	133	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005
1b	133		<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.005	<0.005		
水稻 (露地) (稲わら) S60年度	b) 200倍 48時間 浸漬 c) 0.5% 粉衣	山形農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1a	158	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1b	156	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1c	158	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
		千葉農試	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1a	133	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1b	133	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1c	133	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05
			1c	133	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.05	<0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所 (No. 2)					日本曹達(株)安全性研究所 (No. 2)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
水稻 (露地) (玄米) S63 年度	乳剤(15%) a) 200 倍 48 時間 種子浸漬	山形農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
			1a	177	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
			1b	175	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
			1c	175	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
		日植防研 (茨城)	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
			1a	160	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
			1b	156	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
			1c	156	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.008	
水稻 (露地) (稲わら) S63 年度	b) 20 倍 10 分間 種子浸漬	山形農試	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1a	177	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1b	175	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1c	175	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		日植防研 (茨城)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1a	160	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1b	156	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1c	156	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
小麦 (露地) (種子) H3 年度	乳剤(15%) 5 倍 種子重量の 3% 1 回吹付け 500 倍 200L/10a 3 回散布 合計 4 回	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	3	0.20	0.20	0.09	0.09	0.29	0.19	0.18	0.06	0.06	0.24	
			4	7	0.11	0.10	0.09	0.09	0.19	<0.02	<0.02	0.05	0.05	0.07	
			4	14	0.02	0.02	0.04	0.04	0.06	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			長野植防 (松代)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
				4	3	0.16	0.15	0.09	0.08	0.23	0.06	0.06	0.11	0.11	0.17
		4		7	0.11	0.10	0.11	0.10	0.20	0.05	0.05	<0.02	<0.02	0.07	
		4		14	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06	
		(財)残留農薬研究所 (No. 3)					日本曹達(株)安全性研究所 (No. 3)								

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所 (No. 4)					日本曹達(株) ファイナカル研究所 (No. 4)				
					トリフルミゾール		合計			トリフルミゾール+		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値
大麦 (露地) (種子) S59年度	水和剤(30%) 種子重量の0.5% 1回 種子粉衣 もしくは 上記及び 1000倍 150L/10a 3回 散布 合計4回	日植防研 (茨城)	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02			
			1	243	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02			
			4	7	0.36	0.36	0.28	0.28	0.64	0.41	0.38			
			4	14	0.09	0.09	0.11	0.11	0.20	0.24	0.22			
			4	21	0.03	0.03	0.04	0.04	0.07	0.06	0.06			
		熊本農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02			
			1	184	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02			
			4	7	0.03	0.03	0.04	0.04	0.07	0.10	0.10			
			4	14	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.09	0.08			
			4	21	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.08	0.08			
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所 (No. 5)					(株)日曹分析センター (No. 5)				
					トリフルミゾール		合計			トリフルミゾール		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	最高値	最高値	
とうもろこし (露地) (種実) H7年度	水和剤(30%) 1000倍 200L/10a 3回 散布	北海道 十勝農試	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	29	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	43	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	61	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
		長野 中信農試	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	29	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	43	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	61	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	61	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	61	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所 (No. 9)					(株)日曹分析センター (No. 9)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
こんにゃく (露地) (球茎) H7年度	くん煙剤(10%) 100g/2 m ³ 1回 くん煙	群馬農試	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1	196	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
こんにゃく (露地) (球茎) H8年度		福島農試 (こんにゃく 試験地)	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1	154	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
					(財)残留農薬研究所 (No. 8)					(株)日曹分析センター (No. 8)					
ごぼう (露地) (根部) H16年度	水和剤(30%) 1000倍 300L/10a 3回 散布	岡山農総 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	1	0.05	0.05	<0.03	<0.03	0.08	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	3	0.04	0.04	<0.03	<0.03	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		3	7	0.03	0.02	<0.03	<0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10		
		鹿児島農試 (大隈)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
3	3		<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10		
			3	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10		

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					-					(株)エコプロ・リサーチ(No. 10)					
					トリフルシール		合計	トリフルシール		合計					
最高値	平均値	最高値	最高値												
ふき (露地) (茎) H17年度 個別法	水和剤(30%) 3000倍 300L/10a	愛知 農総試 (知多)	0	-						<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	14						0.06	0.06	<0.05	<0.05	0.11	
			3	21							<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	28							<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
	3回 散布	愛知 農総試 (東海)	0	-						<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	14						0.07	0.06	<0.05	<0.05	0.11	
			3	21						<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	28						<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
					(財)残留農薬研究所(No. 11)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 11)					
たまねぎ (露地) (鱗茎) S62年度	水和剤(30%) 50倍 30分間浸漬	北海道中央 農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	30	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	60	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	90	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
	500倍 200L/10a 3回 散布 合計 4回	三重農技 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	30	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	60	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			4	89	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
					-					(株)日曹分析センター(No. 89)					
たまねぎ (露地) (鱗茎) H24年度 個別法 (LC/MS/MS) 【GLP】	水和剤(15%) 50倍 1L/1トレイ 1回 鉢苗トレイ灌注	日植防 茨城	0	-						<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	
			1	202						<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	
		日植防 高知	0	-						<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	
			1	174						<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所 (No. 12)					日本曹達(株)安全性研究所 (No. 12)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値			
ねぎ (露地) (茎葉) S61年度	水和剤(30%) 50倍 定植時 30分間浸漬 もしくは上記及び	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	100	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			4	3	0.48	0.46	0.18	0.17	0.63	0.42	0.40	0.27	0.26	0.66
			4	7	0.10	0.10	0.09	0.09	0.19	0.22	0.21	0.09	0.08	0.29
			4	14	0.04	0.04	0.07	0.06	0.10	0.08	0.08	0.04	0.04	0.12
	500倍 200L/10a 3回 散布 合計 4回	鳥取園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	123	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			4	3	0.44	0.42	0.13	0.13	0.55	0.60	0.59	0.32	0.30	0.89
			4	7	0.11	0.11	0.08	0.08	0.19	0.14	0.13	0.19	0.17	0.30
			4	14	0.10	0.10	0.05	0.05	0.15	0.05	0.04	0.04	0.04	0.08
					(財)残留農薬研究所 (No. 13)					(株)日曹分析センター (No. 13)				
葉ねぎ (露地) (茎葉) H14年度	水和剤(30%) 200倍 1L/冊	三重植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	70	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	77	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	84	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
	1回 灌注	鳥取園試	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	162	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	169	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	176	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 14)					(株)日曹分析センター(No. 14)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
根深ねぎ (露地) (茎葉) H14年度	水和剤(30%) 200倍 1L/冊 1回 灌注	群馬植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1	182	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1	189	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			1	196	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		静岡植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	214	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	221	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	228	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
				-					(株)日曹分析センター(No. 15)						
にんにく (露地) (鱗茎) H20年度	水和剤(30%) 2000倍 3回 散布 255-285L/10a(植 防) 300L/10a(農林)	青森植防	0	-	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			3	1	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			3	7	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			3	14	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
		青森農林総 合研究所	0	-	/	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09
			3	1	/	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09
			3	7	/	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09
			3	14	/	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所(No. 16)					(株)日曹分析センター(No. 16)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値			
にら (施設) (茎葉) H17年度	水和剤(30%) 2000倍 200L/10a	福島植防 (郡山)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	1	6.98	6.87	0.30	0.30	7.17	3.42	3.40	0.14	0.14	3.54
			3	7	3.49	3.44	0.26	0.26	3.70	1.93	1.90	0.16	0.14	2.04
			3	14	0.90	0.90	0.22	0.22	1.12	0.79	0.78	0.14	0.14	0.92
	3回 散布	高知 農技センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	1	12.3	12.0	0.80	0.80	12.8	9.93	9.90	0.74	0.74	10.64
			3	7	3.58	3.50	0.48	0.46	3.96	2.58	2.57	0.37	0.37	2.94
			3	14	0.17	0.17	0.09	0.09	0.26	0.14	0.14	0.13	0.12	0.26
					(財)残留農薬研究所(No. 17)					(株)日曹分析センター(No. 17)				
アスパラガス (露地) (若茎) H4	水和剤(30%) 1000倍 3L/m ² 1回 灌注	新潟高冷地 農技センター	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	334	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
		長野植防 (松代)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	342	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
					-					(株)日曹分析センター(No. 18)				
アスパラガス (露地) (若茎) H17年度	水和剤(30%) 1000倍 3L/m ²	青森植防	0	-	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	1	/	/	/	/	/	5.54	5.52	0.22	0.22	5.74
			1	7	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	21	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
	1回 灌注	長野植防 (須坂)	0	-	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	1	/	/	/	/	/	2.49	2.49	0.06	0.06	2.55
			1	7	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			1	21	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所(No. 19)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 19)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値			
食用ゆり (露地) (鱗茎) S62年度	水和剤(30%) 50倍 30分間浸漬 もしくは上記及び 1000倍 1L/m ² 1回 灌注 1000倍 100L/10a 3回 散布 合計 5回	北海道 中央農試 (深川市)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	365	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	0.20	0.20	<0.02	<0.02	0.22
			5	30	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	2.46	2.31	<0.02	<0.02	2.33
		北海道 中央農試 (栗山町)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	375	0.79	0.77	<0.03	<0.03	0.80	0.18	0.18	<0.02	<0.02	0.20
			5	33	0.90	0.88	<0.03	<0.03	0.91	2.08	2.06	<0.02	<0.02	2.08
					(財)残留農薬研究所(No. 20)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 20)				
食用ゆり (露地) (鱗茎) H1	水和剤(15%) 35倍 30分間 浸漬	北海道中央 農試(栗山)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	364	0.05	0.05	<0.03	<0.03	0.08	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
		北海道中央 農試(留寿 津)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	360	0.05	0.05	<0.03	<0.03	0.08	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
					(財)残留農薬研究所(No. 21)					(株)日曹分析センター(No. 21)				
らっきょう (露地) (鱗茎) H2年度	水和剤(30%) 50倍 定植前	日植防研 (宮崎)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	222	0.06	0.06	<0.03	<0.03	0.09	0.09	0.08	<0.02	<0.02	0.10
らっきょう (露地) (鱗茎) H4年度	30分間浸漬	福井農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	274	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04

本資料に掲載された情報に係る権利及び内容の責任は日本曹達株式会社にある。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 22)					(株)日曹分析センター(No. 22)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
にんじん (露地) (根部) H16年度	水和剤(30%) 3000倍 3回散布 200L/10a(茨城) 300L/10a(長崎)	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	1	0.06	0.06	<0.03	<0.03	0.09	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	3	0.03	0.03	<0.03	<0.03	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			3	7	0.08	0.08	<0.03	<0.03	0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		長崎総合農 林試験場	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	1	0.10	0.10	<0.03	<0.03	0.13	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	3	0.07	0.06	<0.03	<0.03	0.09	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	7	0.04	0.04	<0.03	<0.03	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			-					(株)日曹分析センター(No. 90) ^{注1)}							
			セルリー (施設) (茎葉) H24年度 個別法 (LC/MS/MS) 【GLP】	水和剤(30%) 2000倍 2回散布 167-248,200-280L/10a	日植防 茨城	0	-	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02
2	1	/				/	/	/	/	5.43	5.32	0.18	0.18	5.50	
2	3	/				/	/	/	/	4.44	4.43	0.19	0.18	4.61	
2	7	/				/	/	/	/	3.14	3.10	0.19	0.18	3.28	
2	14	/				/	/	/	/	2.26	2.22	0.18	0.17	2.39	
2	21	/				/	/	/	/	1.07	1.03	0.09	0.09	1.12	
2	28	/				/	/	/	/	1.00	0.95	0.15	0.15	1.10	
2	56	/				/	/	/	/	0.09	0.09	0.02	0.02	0.11	
日植防 高知	0	-			/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03
	2	1			/	/	/	/	/	/	7.22	7.00	0.32	0.31	7.31
	2	3	/	/	/	/	/	/	4.56	4.51	0.22	0.22	4.73		
	2	7	/	/	/	/	/	/	4.47	4.39	0.34	0.32	4.71		
2	14	/	/	/	/	/	/	3.74	3.62	0.34	0.33	3.95			
2	21	/	/	/	/	/	/	2.15	2.12	0.27	0.26	2.38			
2	28	/	/	/	/	/	/	1.94	1.89	0.30	0.30	2.19			
2	56	/	/	/	/	/	/	0.13	0.12	0.06	0.06	0.18			

注1) 本試験成績は平成26年3月27日に実施した基準値設定に係る申請において提出したものである。

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)						
					公的分析機関				社内分析機関		
					(財)日本食品分析センター(No. 23)				-		
					トリフルミゾール				トリフルミゾール+		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
パセリ (施設) (茎葉) H17年度	水和剤(30%) 8000倍 150L/10a 1回 散布	千葉農総研 センター	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/
			1	14	0.99	0.99	0.13	0.13	1.12		
			1	21	0.57	0.56	0.05	0.05	0.61		
			1	28	0.34	0.34	<0.05	<0.05	0.39		
		大分農水研 究センター	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/
			1	14	0.94	0.92	0.11	0.10	1.02		
			1	21	0.14	0.14	<0.05	<0.05	0.19		
			1	28	0.11	0.11	<0.05	<0.05	0.16		
						(財)残留農薬研究所(No. 24)		日本曹達(株) ファイナカル研究所 (No. 24)			
トマト (施設) (果実) S58年度	水和剤(30%) 3000倍 300L/10a 5回 散布	日植防研 (茨城)	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			5	1	0.108	0.107	0.056	0.055	0.162	0.21	0.20
			5	3	0.029	0.026	0.034	0.033	0.059	0.13	0.13
		大阪農林技 術センター	5	7	0.036	0.035	0.038	0.038	0.073	0.09	0.08
			0	-	0.008	0.008	0.034	0.033	0.041	0.04	0.04
			5	1	0.634	0.632	0.157	0.157	0.789	0.64	0.62
			5	3	0.361	0.359	0.134	0.130	0.489	0.48	0.48
			5	7	0.311	0.311	0.129	0.128	0.439	0.73	0.72

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関				社内分析機関		
					-				日本曹達(株) ファイナシカル研究所 (No. 25)		
					トリフルミゾール				トリフルミゾール+		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
トマト (施設) (果実) S59 年度	水和剤(30%) 3000 倍 300L/10a	日曹榛原 (A 区)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	/	/	/	0.36	0.35
			5	3	/	/	/	/	/	0.13	0.12
			5	7	/	/	/	/	/	0.12	0.12
	5 回 散布	日曹榛原 (C 区)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	/	/	/	0.41	0.40
			5	3	/	/	/	/	/	0.21	0.21
			5	7	/	/	/	/	/	0.12	0.12

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 26)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 26)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値		
トマト (施設) (果実) S61年度	くん煙剤(10%) 50g/400 m ³ 5回 くん煙	長野中信 農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	0.10	0.09	<0.03	<0.03	0.12	0.14	0.14	<0.02	<0.02	0.16	
			5	3	0.07	0.06	<0.03	<0.03	0.09	0.05	0.04	<0.02	<0.02	0.06	
			5	7	0.03	0.03	<0.03	<0.03	0.06	0.02	0.02	<0.02	<0.02	0.04	
		日植防研 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	0.18	0.16	0.04	0.04	0.20	0.08	0.07	0.03	0.02	0.02	0.09
			5	3	0.07	0.06	0.05	0.05	0.11	0.05	0.04	0.02	0.02	0.02	0.06
			5	7	0.02	0.02	0.05	0.04	0.06	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02	0.05
					(財)残留農薬研究所(No. 27)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 27)					
トマト (施設) (果実) H2年度	乳剤(15%) 2000倍 250L/10a 5回 散布	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	0.10	0.10	0.04	0.04	0.14	0.12	0.12	<0.02	<0.02	0.14	
			5	3	0.07	0.06	0.04	0.04	0.10	0.10	0.10	<0.02	<0.02	0.12	
			5	7	0.05	0.04	0.04	0.04	0.08	0.07	0.07	<0.02	<0.02	0.09	
		長野中信 農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	0.11	0.11	0.03	0.03	0.14	0.11	0.11	<0.02	<0.02	<0.02	0.13
			5	3	0.08	0.08	0.03	0.03	0.11	0.09	0.08	<0.02	<0.02	<0.02	0.10
			5	7	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 28)					(株)日曹分析センター(No. 28)					
					トリフルメチル				合計	トリフルメチル				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値		
ミニトマト (施設) (果実) H15年度	水和剤(30%) 3000倍 300L/10a 5回 散布	埼玉植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.11	0.10	<0.03	<0.03	0.13	0.09	0.09	<0.05	<0.05	0.14	
			5	3	0.15	0.14	0.03	0.03	0.17	0.07	0.07	<0.05	<0.05	0.12	
			5	7	0.08	0.08	0.03	0.03	0.11	0.05	0.05	<0.05	<0.05	0.10	
		長野中信 農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.33	0.32	0.07	0.07	0.39	0.34	0.34	0.06	0.06	0.06	0.40
			5	3	0.20	0.18	0.06	0.05	0.23	0.20	0.20	0.05	0.05	0.05	0.25
			5	7	0.12	0.12	0.05	0.05	0.17	0.13	0.12	<0.05	<0.05	<0.05	0.17
					(財)残留農薬研究所(No. 29)					(株)日曹分析センター(No. 29)					
ミニトマト (施設) (果実) H16年度	くん煙剤(10%) 50g/400㎡ 5回 くん煙	岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.08	0.08	<0.03	<0.03	0.11	0.06	0.06	<0.05	<0.05	0.11	
			5	7	0.05	0.05	<0.03	<0.03	0.08	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	14	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		日植防研 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.21	0.20	0.06	0.05	0.25	0.11	0.10	0.08	0.08	0.08	0.18
			5	7	0.10	0.10	0.04	0.04	0.14	<0.05	<0.05	0.07	0.06	0.06	0.11
			5	14	0.04	0.04	0.03	0.03	0.07	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所(No. 30)					日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 30)	
					トリフルシゾール				トリフルシゾール+		
最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値					
ピーマン (施設) (果実) S59年度	水和剤(30%) 3000倍 200L/10a	三重農技セン ター	0	-	<0.008	<0.008	0.009	0.009	0.017	<0.02	<0.02
			5	1	0.097	0.096	0.019	0.017	0.113	0.12	0.10
			5	3	0.044	0.043	0.009	0.009	0.052	0.04	0.04
			5	7	0.028	0.027	0.012	0.012	0.039	0.03	0.02
	5回 散布	日植防研 (高知)	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			5	1	1.013	0.986	0.253	0.248	1.234	0.95	0.92
			5	3	0.794	0.791	0.273	0.269	1.060	0.83	0.82
			5	7	0.483	0.480	0.177	0.176	0.656	0.59	0.58
				-					日本曹達(株) ファインケミカル研究所 (No. 31)		
ピーマン (施設) (果実) S59年度	水和剤(30%) 3000倍 70L/10a	日曹榛原 (A区)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	/	/	/	0.41	0.40
			5	3	/	/	/	/	/	0.28	0.28
			5	7	/	/	/	/	/	0.14	0.14
	5回 散布	日曹榛原 (C区)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02
			5	1	/	/	/	/	/	0.51	0.50
			5	3	/	/	/	/	/	0.42	0.41
			5	7	/	/	/	/	/	0.13	0.13

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所 (No. 32)					日本曹達(株)安全性研究所 (No. 32)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値	
ピーマン (施設) (果実) S62 年度	くん煙剤 (10%) 50g/400 m ³	茨城園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	0.07	0.07	0.03	0.03	0.10	0.06	0.05	0.03	0.02	0.07
			5	3	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	0.02	0.02	0.04
	5回 くん煙	日植防研 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	0.05	0.05	0.04	0.04	0.09	0.03	0.03	0.03	0.02	0.05
			5	3	0.04	0.04	0.03	0.03	0.07	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	7	<0.02	<0.02	0.04	0.03	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
					公的分析機関					社内分析機関				
					-					日本曹達(株) ファイナシカル研究所 (No. 33)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値			
なす (施設) (果実) S59 年度	水和剤 (30%) 3000 倍 200L/10a	日曹榛原 (A 区)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02			
			5	1	/	/	/	/	/	0.08	0.08			
			5	3	/	/	/	/	/	0.06	0.06			
			5	7	/	/	/	/	/	0.03	0.03			
	5回 散布	日曹榛原 (C 区)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02			
			5	1	/	/	/	/	/	0.11	0.10			
			5	3	/	/	/	/	/	0.07	0.06			
			5	7	/	/	/	/	/	0.04	0.04			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所 (No. 34)					日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 34)				
					トリフルシゾール				合計	トリフルシゾール+				
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値			
なす (施設) (果実) S60年度	水和剤(30%) 3000倍 300L/10a 5回 散布	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02			
			5	1	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	0.33	0.32			
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	0.11	0.10			
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	0.03	0.03			
		和歌山農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02			
			5	1	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	0.04	0.04			
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	0.02	0.02			
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02			
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所 (No. 35)					日本曹達(株)安全性研究所 (No. 35)				
					トリフルシゾール				合計	トリフルシゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値	
					なす (施設) (果実) S62年度	くん煙剤(10%) 50g/400 m ³ 5回 くん煙	大阪農林 技術センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05
5	1	0.02	0.02	<0.03				<0.03	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
5	3	<0.02	<0.02	<0.03				<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
5	7	<0.02	<0.02	<0.03				<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
高知農林 技術研究所	0	-	<0.02	<0.02			<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	5	1	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
	5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 36)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 36)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
なす (施設) (果実) H3年度	乳剤(15%) 2000倍5回散布 140-250L/10a(茨城) 300L/10a(高知)	日植防研 (茨城)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
		日植防研 (高知)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	3	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	7	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
				(財)残留農薬研究所(No. 37)					(株)日曹分析センター(No. 37)						
とうがらし類 (施設) (果実) H16年度	水和剤(30%) 4000倍5回散布 300L/10a(京都) 120-200L/10a(高知)	京都農総研	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.26	0.25	0.04	0.03	0.28	0.24	0.24	<0.05	<0.05	0.29	
			5	3	0.15	0.14	0.04	0.04	0.18	0.12	0.11	<0.05	<0.05	0.16	
			5	7	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		日植防研 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.35	0.34	0.07	0.07	0.41	0.34	0.34	<0.05	<0.05	0.39	
			5	3	0.19	0.18	0.07	0.06	0.24	0.21	0.20	<0.05	<0.05	0.25	
			5	7	0.03	0.03	0.06	0.05	0.08	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
				(財)残留農薬研究所(No. 38)					(株)日曹分析センター(No. 38)						
とうがらし類 (施設) (果実) H16年度	くん煙剤(10%) 50g/400m ³ 5回くん煙	岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.12	0.12	0.03	0.03	0.15	0.08	0.08	<0.05	<0.05	0.13	
			5	3	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		日植防研 (宮崎)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.51	0.50	0.14	0.14	0.64	0.34	0.32	0.09	0.08	0.40	
			5	3	0.08	0.08	0.08	0.08	0.16	0.06	0.06	0.06	0.06	0.12	
			5	7	<0.02	<0.02	0.07	0.06	0.08	<0.05	<0.05	0.06	0.06	0.11	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 39)					(株)日曹分析センター(No. 39)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
ししとう (施設) (果実) H16年度	水和剤(30%) 4000倍 300L/10a 5回 散布	熊本農業研 究センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.26	0.26	0.08	0.08	0.34	0.36	0.34	0.07	0.06	0.40	
			5	3	0.10	0.10	0.08	0.08	0.18	0.10	0.10	0.11	0.10	0.20	
			5	7	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		宮崎総農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.30	0.28	0.06	0.05	0.33	0.26	0.26	0.09	0.09	0.35	
			5	3	0.09	0.08	0.04	0.04	0.12	0.17	0.17	0.06	0.06	0.23	
			5	7	0.07	0.06	0.05	0.05	0.11	0.11	0.11	0.06	0.06	0.17	
					(財)残留農薬研究所(No. 40)					(株)日曹分析センター(No. 40)					
ししとう (施設) (果実) H16年度	くん煙剤(10%) 50g/400m ³ 5回 くん煙	岩手植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.15	0.14	0.06	0.06	0.20	0.18	0.18	0.07	0.07	0.25	
			5	3	0.09	0.09	0.06	0.06	0.15	0.09	0.08	0.06	0.06	0.14	
			5	8	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
ししとう (施設) (果実) H15年度		くん煙剤(10%) 50g/400m ³ 5回 くん煙	日植防研 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
				5	1	0.21	0.20	0.12	0.12	0.32	0.27	0.27	0.15	0.14	0.41
				5	3	0.13	0.13	0.15	0.15	0.28	0.15	0.14	0.14	0.13	0.27
5			7	0.03	0.03	0.13	0.12	0.15	0.11	0.11	0.13	0.13	0.13	0.24	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所(No. 41)					日本曹達(株) ファイナシカル研究所 (No. 41)	
					トリフルシ [®] -ール				合計	トリフルシ [®] -ール+	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
きゅうり (施設) (果実) S57年度	水和剤(30%) 3000倍 5回散布	千葉農試	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			5	1	0.046	0.045	0.050	0.050	0.095	0.11	0.10
			5	3	0.023	0.023	0.074	0.062	0.085	0.10	0.09
			5	7	0.008	0.008	0.039	0.038	0.046	0.04	0.04
	300L/10a(千葉) 200L/10a(大阪)	大阪農林技 術センター	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			5	1	0.173	0.170	0.040	0.040	0.210	0.29	0.28
			5	3	0.154	0.154	0.049	0.048	0.202	0.26	0.25
			5	7	0.068	0.063	0.048	0.048	0.111	0.10	0.10
					(財)残留農薬研究所(No. 42)					日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 42)	
きゅうり (施設) (果実) S60年度	くん煙剤(10%) 50g/400m ³	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02
			4	1	0.05	0.05	0.04	0.04	0.09	0.10	0.10
			4	3	0.05	0.04	0.06	0.06	0.10	0.08	0.08
			4	7	0.02	0.02	0.07	0.06	0.08	0.06	0.06
	4回 くん煙	大阪農林技 術センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02
			4	1	0.04	0.04	0.05	0.04	0.08	0.09	0.09
			4	3	0.02	0.02	0.05	0.04	0.06	0.07	0.06
			4	7	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06	0.05	0.04

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					—					日本曹達(株)安全性研究所(No. 43)					
					トリフルシール				合計	トリフルシール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
きゅうり (施設) (果実) S61, 62年度	くん煙剤(10%) 50g/378 m ³ (群馬) 50g/400 m ³ (静岡) 5回くん煙	日曹榛原 (群馬)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	/	/	/	/	/	0.05	0.04	0.03	0.03	0.07	
		日曹榛原 (静岡)	0	-	/	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	/	/	/	/	/	/	0.11	0.10	0.07	0.06	0.16
					(財)残留農薬研究所(No. 44)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 44)					
きゅうり (施設) (果実) H2年度	乳剤(15%) 2000倍 80-250L/10a(茨城) 1500倍 250L/10a(大阪) 5回散布	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	0.05	0.05	0.03	0.03	0.08	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
		大阪農林技 術センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	0.08	0.08	0.04	0.04	0.12	0.04	0.04	<0.02	<0.02	0.06	
			5	3	0.03	0.03	0.04	0.04	0.07	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
					(財)残留農薬研究所(No. 45)					(株)日曹分析センター(No. 45)					
きゅうり (施設) (果実) H20年度	くん煙剤(10%) 50g/400 m ³ 5回くん煙	日植防研 高知	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			5	1	0.08	0.08	0.04	0.04	0.12	0.07	0.07	<0.05	<0.05	0.12	
			5	7	0.02	0.02	0.04	0.04	0.06	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			5	14	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
		日植防研 宮崎	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			5	1	0.11	0.11	0.04	0.03	0.14	0.09	0.09	<0.05	<0.05	0.14	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	
			5	14	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所(No. 46)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 46)				
					トリフルゾール				合計	トリフルゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値			
かぼちゃ (施設) (果実) S61年度	水和剤(30%) 3000倍 300L/10a	鳥取園試 (西伯)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	0.04	0.04	<0.02	<0.02	0.06
			5	3	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	0.03	0.02	<0.02	<0.02	0.04
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
	5回 散布	宮崎総農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	0.06	0.06	<0.02	<0.02	0.08
			5	3	0.03	0.03	<0.03	<0.03	0.06	0.11	0.10	<0.02	<0.02	0.12
			5	7	0.06	0.06	<0.03	<0.03	0.09	0.07	0.06	<0.02	<0.02	0.08
									日本曹達(株)安全性研究所(No. 47)					
かぼちゃ (露地) (果実) H2年度	水和剤(30%) 乾燥重量の0.3% 湿粉衣	岡山農試	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			1	70	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
かぼちゃ (施設) (果実) H3年度		茨城農試	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
										(財)日本食品分析センター(No. 35)				
ズッキーニ (施設) (果実) H15年度	くん煙剤(10%) 50g/400㎡	千葉農総研 センター(後草)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/	/	/	/
			4	1	0.07	0.06	<0.06	<0.06	0.12	/	/	/	/	/
			4	3	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/	/	/	/
			4	7	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/	/	/	/
	4回 くん煙	千葉農総研 センター(松ヶ 谷)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/	/	/	/
			4	1	0.06	0.06	<0.06	<0.06	0.12	/	/	/	/	/
			4	3	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/	/	/	/
			4	7	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/	/	/	/

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 48)					(株)日曹分析センター(No. 48)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
しろり (施設) (果実) H17, 16 LC/MS 法 HPLC 法	水和剤(30%) 3000倍(岐阜) 1500倍(徳島) 300L/10a 5回散布	岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.03	0.03	<0.03	<0.03	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	3	0.03	0.03	<0.03	<0.03	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		徳島植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			(財)残留農薬研究所(No. 49)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 49)							
すいか (施設) (果肉) H1年度	くん煙剤(10%) 50g/400m ³ 5回くん煙	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
		日植防研 (高知)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			(財)残留農薬研究所(No. 49)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 49)							

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)											
					公的分析機関					社内分析機関						
					(財)残留農薬研究所(No. 50)					日本曹達(株)ファ インケル研究所 (No. 50)						
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+				合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値			
すいか (施設) (果肉) S57年度	水和剤(30%) 3000倍 散布 200L/10a 5回(茨 城)	日植防研 (茨城)	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02					
			5	1	<0.008	<0.008	0.013	0.013	0.021	<0.02	<0.02					
		石川砂丘地 農試	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02					
			6	1	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02					
					公的分析機関					社内分析機関						
					(財)残留農薬研究所(No. 51)					(株)日曹分析センター(No. 51)						
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値			
メロン (施設) (果肉) H15年度	水和剤(30%) 3000倍 300L/10a 5回 散布	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10		
			5	1	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10		
			5	3	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
		岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 52)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 52)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
メロン (施設) (果肉) S62年度	くん煙剤(10%) 50g/400㎡ 5回 くん煙	日植防研 (茨城)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
		熊本農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
					公的分析機関					社内分析機関					
					-					日本曹達(株)ファインケミカル研究所 (No. 56)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値				
まくわうり (施設) (果実) S59年度	水和剤(30%) 3000倍 220L/10a 5回 散布	日曹榛原 (静岡)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02				
			5	1	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02				
			5	3	/	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02			
			5	7	/	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財) 残留農薬研究所					(株) 日曹分析センター				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値	
とうがん (神奈川：露地 沖縄：施設) (果実) H16年度 LC/MS法 HPLC法	水和剤(30%) 3000倍 5回散布 300L/10a(神奈川) 46.2-120L/10a(沖 縄)	神奈川 農総研 三浦	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.03	0.03	0.04	0.03	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	3	0.02	0.02	0.04	0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
		沖縄農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
					公的分析機関					社内分析機関				
					沖縄病害虫防除 所(No. 55)					(株) 日曹分析センター(No. 55)				
		トリフルミゾール				トリフルミゾール						合計		
		最高値		平均値		最高値		平均値		最高値		最高値		
にがうり (施設) (果実) H12年度	水和剤(30%) 3000倍 180L/10a 3回 散布	沖縄病害虫 防除所 (豊見城村)	0	-	<0.06	<0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			
			3	1	0.09	0.09	0.14	0.14	0.16	0.16	0.30			
			3	3	<0.06	<0.06	0.21	0.20	0.22	0.20	0.40			
			3	7	<0.06	<0.06	<0.05	<0.05	0.15	0.13	0.18			
		沖縄病害虫 防除所 (今帰仁村)	0	-	<0.06	<0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			
			3	1	0.15	0.15	0.07	0.06	<0.05	<0.05	0.11			
			3	3	0.07	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			
			3	7	<0.06	<0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					徳島県農業試験場(No. 57)					高知県農業技術センター(No. 57)				
					トリフルミゾール		合計	トリフルミゾール		合計				
最高値	平均値	最高値	最高値											
オクラ (露地) (果実) H10年度	水和剤(30%) 5000倍 150L/10a	徳島農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	1	0.10	0.10	<0.03	<0.03	0.13	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	3	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
	3回 散布	高知農技 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	1	0.13	0.12	<0.03	<0.03	0.15	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	3	0.02	0.02	<0.03	<0.03	0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
			3	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11
					徳島県農業試験場(No. 58)					高知県農業技術センター(No. 58)				
オクラ (露地) (果実) H12年度	水和剤(30%) 5000倍 150L/10a	高知農技 センター	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09
			3	1	0.18	0.16	<0.03	<0.03	0.19	0.11	0.10	<0.05	<0.05	0.15
			3	3	0.05	0.05	<0.03	<0.03	0.08	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09
			3	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09
					(財)残留農薬研究所(No. 59)					(株)日曹分析センター(No. 59)				
しょうが (露地) (塊茎) H9年度	水和剤(30%) 1000倍 200L/10a	日植防研 (茨城)	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	1	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	7	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	14	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
	3回 散布	日植防研 (高知)	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	1	0.02	0.02	<0.02	<0.02	0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	7	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	14	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					---					(株)日曹分析センター(No. 88)					
					トリフルミゾール		トリフルミゾール		合計	トリフルミゾール		トリフルミゾール		合計	
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	最高値										
しょうが (露地) (根茎) H23年度 個別法 (LC/MS/MS) 【GLP】	水和剤(30%) 1000倍5回散布 180-182, 171-172L/10a	日植防 高知	0	-	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	
			5	1	/	/	/	/	/	0.02	0.02	<0.02	<0.02	0.04	
			5	3	/	/	/	/	/	0.02	0.02	<0.02	<0.02	0.04	
			5	7	/	/	/	/	/	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.03	
			5	14	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	
		5	28	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03		
		日植防 宮崎	0	-	/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03
			5	1	/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03
			5	3	/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03
			5	7	/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03
5	14		/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03		
5	28	/	/	/	/	/	/	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03			
(財)日本食品分析センター(No. 60)										-					
葉しょうが (茨城:施設 千葉:露地) (根茎) H17年度	水和剤(30%) 1000倍3回散布 179L/10a(茨城) 200L/10a(千葉)	茨城農総 センター	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/	/	/	/	
			3	7	0.12	0.12	<0.05	<0.05	0.17	/	/	/	/	/	
			3	14	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/	/	/	/	
		千葉農総 研 センター	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/	/	/	/	
			3	7	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/	/	/	/	
			3	14	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/	/	/	/	
3	21	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	/	/	/	/	/				
(財)残留農薬研究所(No. 61)										日本曹達(株)安全 性研究所(No. 61)					
さやえんどう (施設) (さや) S59年度	水和剤(30%) 3000倍200L/10a 5回散布	鹿児島 農試	0	-	<0.008	<0.008	0.009	0.009	0.017	<0.02	<0.02				
			5	1	0.511	0.504	0.116	0.114	0.618	0.52	0.50				
			5	3	0.046	0.044	0.036	0.036	0.080	0.07	0.06				
			5	7	0.008	0.008	0.009	0.009	0.017	<0.02	<0.02				
		和歌山植 防	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02				
			5	1	0.854	0.844	0.121	0.119	0.963	1.00	0.94				
			5	3	0.724	0.710	0.134	0.132	0.842	0.78	0.78				
			5	7	0.523	0.512	0.140	0.138	0.650	0.73	0.73				

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					—					日本曹達(株) ファイナキル研究所 (No. 62)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+				合計	
最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値								
さやえんどう (施設) (さや) S59年度	水和剤(30%) 3000倍 200L/10a 1,2回 散布	日曹榛原 (静岡)	0 1 2	- 1 1	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	1.49	1.43	2.31	2.24
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所 (No. 63)					日本曹達(株)安全性研究所 (No. 63)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値		
さやえんどう (施設) (さや) S62-63年度	くん煙剤(10%) 50g/400 m ²	鹿児島農試	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	0.05	0.05	<0.05	<0.05	0.10	
			5	3	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	7	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	13	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
さやえんどう (施設) (さや) H1-2年度	5回 くん煙	和歌山植防	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.05	0.05	<0.06	<0.06	0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	3	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	0.06	0.06	0.11	
			5	7	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	14	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					—					(株)エスコ(No. 64)				
					トリフルズール				合計	トリフルズール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値	
実えんどう (施設) (子実) H16年度	水和剤(30%) 3000倍5回散布 300L/10a(農試) 200-300L/10a(暖 園)	和歌山農水 総技センター (農試)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05
			5	1	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05
			5	3	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05
			5	7	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05
		和歌山農水 総技センター (暖地)	0	-	/	/	/	/	/	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05
			5	1	/	/	/	/	/	0.05	0.05	0.03	0.03	0.08
			5	3	/	/	/	/	/	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06
			5	7	/	/	/	/	/	0.02	0.02	0.03	0.03	0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所 (No. 66)					日本曹達(株) ファイナンス研究所 (No. 66)	
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
りんご (露地) (果実) S57年度	水和剤(30%) 2000倍 8回散布 600L/10a(青森) 630L/10a(長野)	青森 りんご試	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			8	1	0.080	0.074	0.023	0.023	0.097	0.19	0.18
			8	7	0.013	0.012	0.019	0.018	0.030	0.02	0.02
		長野植防研	8	21	0.008	0.008	0.009	0.009	0.017	<0.02	<0.02
			0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			8	21	<0.008	<0.008	0.009	0.009	0.017	<0.02	<0.02
りんご (露地) (果実) S58年度	水和剤(30%) 2000倍 600L/10a 8回 散布	長野植防研	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			8	1	0.228	0.224	0.018	0.017	0.241	0.25	0.24
			8	7	0.026	0.026	0.009	0.009	0.035	<0.02	<0.02
			8	21	0.008	0.008	<0.009	<0.009	0.017	<0.02	<0.02
			(財)残留農薬研究所 (No. 67)					日本曹達(株) ファイナンス研究所 (No. 67)			
なし (露地) (果実) S60年度	水和剤(30%) 2000倍 500L/10a 8回 散布	新潟園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02
			8	1	0.20	0.19	0.13	0.12	0.31	0.15	0.14
			8	7	0.09	0.08	0.14	0.14	0.22	0.07	0.06
			8	21	0.02	0.02	0.11	0.10	0.12	0.04	0.04
			(財)残留農薬研究所 (No. 68)					日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 68)			
		広島果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02
			8	1	0.18	0.18	0.14	0.14	0.32	0.13	0.12
			8	7	0.11	0.10	0.14	0.13	0.23	0.08	0.08
			8	21	0.02	0.02	0.13	0.12	0.14	0.05	0.05

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					-					(株)日曹分析センター(No. 69)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値		
マルメロ (露地) (果実) H16年度	水和剤(30%) 2000倍 3,4回散布 700L/10a(南信) 800L/10a(中信)	長野中信 農試	0	-	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			4	3						1.41	1.36	0.28	0.27	1.63	
			3	7						0.54	0.51	0.25	0.24	0.75	
			3	14						0.49	0.48	0.25	0.25	0.73	
		長野南信 農試	-	-	/	/	/	/	/	/	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			3	3							0.14	0.12	0.12	0.12	0.24
			3	7							0.19	0.18	0.20	0.20	0.38
			3	14							0.07	0.06	0.17	0.16	0.22
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 70)					日本曹達(株) ファインケミカル研究所 (No. 70)					
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値				
もも (露地) (果肉) S58年度	水和剤(30%) 1000倍 3回散布 800L/10a(山梨) 300L/10a(福島)	福島植防	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02				
			3	1	0.040	0.039	0.128	0.128	0.167	0.15	0.14				
			3	3	0.025	0.024	0.163	0.160	0.184	0.12	0.11				
			3	7	0.017	0.016	0.121	0.119	0.135	0.10	0.09				
		山梨果試	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02				
			3	1	0.042	0.038	0.056	0.056	0.094	0.14	0.13				
			3	4	0.079	0.076	0.103	0.102	0.178	0.09	0.09				
			3	7	0.080	0.080	0.216	0.214	0.294	0.06	0.06				

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所 (No. 70)					日本曹達(株) ファインケミカル研究所 (No. 70)	
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
もも (露地) (果皮) S59年度	水和剤(30%) 1000倍 3回散布	福島植防	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.03	<0.03
			3	1	10.30	9.96	2.55	2.53	12.5	17.8	17.4
			3	3	4.82	4.75	1.60	1.57	6.32	13.3	13.2
			3	7	3.38	3.32	1.78	1.74	5.06	9.16	8.69
	800L/10a(山梨) 300L/10a(福島)	山梨果試	0	-	<0.04	<0.04	<0.05	<0.05	<0.09	<0.03	<0.03
			3	1	13.80	13.40	1.44	1.40	14.8	10.9	10.7
			3	4	16.80	16.60	1.83	1.80	18.4	7.70	7.58
			3	7	25.40	24.60	2.71	2.64	27.2	5.56	5.54
									日本曹達(株) ファインケミカル研究所 (No. 71)		
もも (露地) (果肉) S59年度	水和剤(30%) 1000倍 3回散布	山形園試	0	-						<0.02	<0.02
			3	1						0.19	0.18
			3	7						0.12	0.11
			3	14						0.06	0.06
	300L/10a(山形) 600L/10a(長野)	長野植防	0	-						<0.02	<0.02
			3	1						0.25	0.24
			3	7						0.20	0.20
			3	14						0.07	0.06

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					-					日本曹達(株) ファインケミカル研究所 (No. 71)				
					トリフルミゾール		合計			トリフルミゾール+		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値		
もも (露地) (果皮) S59年度		山形園試	0	-	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04			
			3	1	/	/	/	/	/	8.97	8.68			
			3	7	/	/	/	/	/	1.82	1.75			
			3	14	/	/	/	/	/	0.70	0.60			
		長野植防	0	-	/	/	/	/	/	/	<0.04	<0.04		
			3	1	/	/	/	/	/	/	16.1	15.6		
			3	7	/	/	/	/	/	/	1.42	1.24		
			3	14	/	/	/	/	/	/	0.49	0.45		
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所(No. 73)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 73)				
					トリフルミゾール		合計			トリフルミゾール		合計		
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	最高値	合計	
					0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02
すもも (露地) (果実) S63年度	水和剤(30%) 1000倍 500L/10a 3回 散布	長野植防 (南信)	3	1	0.09	0.09	0.04	0.04	0.13	0.34	0.32	0.10	0.08	0.40
			3	3	0.17	0.17	0.09	0.09	0.26	0.13	0.12	0.06	0.04	0.16
			3	7	0.05	0.05	0.06	0.06	0.11	0.06	0.06	0.02	0.02	0.08
			0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
		和歌山 果園試	3	1	0.08	0.08	0.07	0.07	0.15	0.18	0.18	0.09	0.08	0.26
			3	3	0.03	0.03	0.07	0.07	0.10	0.06	0.06	0.06	0.06	0.12
			3	7	0.02	0.02	0.07	0.07	0.09	0.03	0.03	0.04	0.04	0.07

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経 過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					(財)残留農薬研究所(No. 72)					日本曹達(株)安全性研究所(No. 72)					
					トリフルメチル				合計	トリフルメチル				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
うめ (露地) (果実) S61年度	水和剤(30%) 1000倍 500L/10a	長野植防 (南信)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	2.42	2.40	0.62	0.62	3.02	1.60	1.59	0.35	0.34	1.93	
			5	7	1.20	1.16	0.53	0.52	1.68	0.80	0.78	0.30	0.29	1.07	
			5	14	0.25	0.24	0.21	0.21	0.45	0.36	0.35	0.06	0.06	0.41	
	5回 散布	和歌山 果園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			5	3	0.40	0.39	0.29	0.28	0.67	0.64	0.63	0.21	0.20	0.83	
			5	7	0.15	0.14	0.21	0.21	0.35	0.25	0.24	0.18	0.16	0.40	
			5	14	0.03	0.03	0.08	0.08	0.11	0.05	0.04	0.05	0.04	0.08	
おうとう (露地) (果実) S61年度	水和剤(30%) 1500倍 3回散布 410L/10a(青森) 300L/10a(山梨)	青森畑作 園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			3	3	1.19	1.16	0.25	0.24	1.40	1.24	1.20	0.33	0.33	1.53	
			3	7	0.98	0.92	0.27	0.26	1.18	0.70	0.68	0.28	0.28	0.96	
			3	14	0.32	0.31	0.42	0.40	0.71	0.27	0.26	0.27	0.25	0.51	
		山梨果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			3	3	0.22	0.22	0.05	0.05	0.27	0.52	0.51	0.05	0.05	0.56	
	水和剤(30%) 1000倍 3回散布 410L/10a(青森) 300L/10a(山梨)	青森畑作 園試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04	
			3	3	2.44	2.38	0.23	0.22	2.60	2.02	1.97	0.39	0.38	2.35	
			3	7	1.30	1.30	0.35	0.35	1.65	1.18	1.18	0.35	0.34	1.52	
			3	14	0.33	0.32	0.30	0.30	0.62	0.28	0.28	0.28	0.28	0.56	
		山梨果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			3	3	0.35	0.34	0.07	0.07	0.41	0.64	0.62	0.05	0.05	0.67	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所(No. 75)					日本曹達(株) ファイナカル研究所 (No. 75)	
					トリフルシール				合計	トリフルシール+	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
いちご (施設) (果実) S58年度	水和剤(30%) 3000倍 150L/10a	栃木農試 (栃木)	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			5	1	0.053	0.052	0.102	0.100	0.152	0.26	0.24
			5	3	0.034	0.033	0.107	0.104	0.137	0.19	0.18
			5	7	0.010	0.010	0.086	0.083	0.093	0.09	0.09
		0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02	
	5回 散布	埼玉植防	5	1	0.039	0.039	0.025	0.025	0.064	0.10	0.10
			5	3	0.034	0.034	0.042	0.042	0.076	0.06	0.06
			5	7	0.027	0.026	0.048	0.048	0.074	0.05	0.04
								(財)残留農薬研究所(No. 76)		日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 76)	
			0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02
いちご (施設) (果実) S59,60年度	くん煙剤(10%) 50g/400m ³ (徳島) 50g/300m ³ (栃木)	栃木農試 (栃木)	4	1	0.04	0.04	0.03	0.03	0.07	0.08	0.08
			4	3	0.03	0.03	0.03	0.03	0.06	0.04	0.04
			4	7	<0.02	<0.02	0.03	0.03	0.05	0.03	0.02
		0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02	
	4回 くん煙	徳島農試	4	1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.10	0.12	0.12
			4	3	0.02	0.02	0.05	0.05	0.07	0.06	0.06
			4	7	0.06	0.05	0.07	0.07	0.12	0.05	0.04

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日 数	分析結果(ppm)										
					公的分析機関					社内分析機関					
					—					日本曹達(株)安全性研究所(No. 77)					
					トリフルシズール				合計	トリフルシズール				合計	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値				
いちご (施設) (果実) S61年度	くん煙剤(10%) 50g/400 m ³ 5回 くん煙	日曹榛原 (埼玉)	0 5 5	- 1 3	/	/	/	/	/	<0.02 0.24 0.12	<0.02 0.22 0.12	<0.02 0.09 0.05	<0.02 0.08 0.05	<0.04 0.30 0.17	
		日曹榛原 (静岡)	0 5 5	- 1 3	/	/	/	/	/	<0.02 0.16 0.11	<0.02 0.16 0.10	<0.02 0.05 0.04	<0.02 0.05 0.04	<0.04 0.21 0.14	
					(財)残留農薬研究所(No. 78)					(株)日曹分析センター(No. 78)					
いちご (施設) (果実) H16, 17年度	くん煙剤(10%) 50g/400 m ³ 5回 くん煙	岐阜植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10	
			5	1	0.12	0.12	0.08	0.08	0.20	0.13	0.13	0.17	0.16	0.29	
			5	7	0.03	0.03	0.07	0.07	0.10	0.28	0.28	0.11	0.10	0.38	
			5	14	0.02	0.02	0.07	0.07	0.09	<0.05	<0.05	0.08	0.08	0.13	
		奈良植防	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10
			5	1	0.10	0.10	0.04	0.04	0.14	0.09	0.09	<0.05	<0.05	0.14	
5	7	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			
5	14	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.10			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所 (No. 79)					日本曹達(株)フ ァイナル研究所 (No. 79)	
					トリフルシゾール				合計	トリフルシゾール+	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
ぶどう (露地) (果実) S58年度	水和剤(30%) 2000倍 200L/10a	京都府山城 園研	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			3	1	0.329	0.318	0.110	0.110	0.428	0.80	0.80
			3	7	0.052	0.051	0.145	0.144	0.195	0.35	0.34
			3	14	0.170	0.164	0.359	0.355	0.519	0.22	0.22
	3回 散布	石川砂丘地 農試	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			3	1	0.126	0.125	0.091	0.087	0.212	0.61	0.60
			3	7	0.088	0.088	0.083	0.082	0.170	0.31	0.28
			3	14	0.064	0.062	0.079	0.078	0.140	0.15	0.14
ぶどう (施設) (果実) S59年度	水和剤(30%) 2000倍 300L/10a	石川砂丘地 農試	0	-	<0.008	<0.008	<0.009	<0.009	<0.017	<0.02	<0.02
			3	1	0.583	0.583	0.076	0.074	0.657	0.58	0.57
			3	7	0.350	0.345	0.108	0.108	0.453	0.36	0.34
			3	14	0.356	0.353	0.138	0.136	0.489	0.16	0.14
	3回 散布	大阪農林技 術センター	0	-	0.008	0.008	0.009	0.009	0.017	<0.02	<0.02
			3	1	1.000	0.954	0.143	0.142	1.10	1.54	1.50
			3	7	0.481	0.472	0.358	0.352	0.824	0.66	0.66
			3	14	0.182	0.182	0.256	0.252	0.434	0.19	0.18

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回数	経過 日数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所(No. 81)					日本曹達(株) 安全性研究所 (No. 81)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+				
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値			
かき (露地) (果実) S60年度	水和剤(30%) 2000倍 500L/10a	奈良農試	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02			
			8	1	0.20	0.19	0.13	0.12	0.31	0.25	0.24			
			8	7	0.12	0.12	0.09	0.09	0.21	0.11	0.10			
			8	21	0.04	0.04	0.12	0.12	0.16	0.07	0.06			
	8回 散布	福岡農総試 (豊前)	0	-	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.05	<0.02	<0.02			
			8	1	0.30	0.30	0.13	0.12	0.42	0.21	0.20			
			8	7	0.15	0.14	0.12	0.12	0.26	0.10	0.10			
			8	21	<0.02	<0.02	0.04	0.04	0.06	0.02	0.02			
					公的分析機関					社内分析機関				
					-					(株)南西環境研究所(No. 82)				
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値	
					マンゴー (露地) (果実) H17年度	水和剤(30%) 2000倍 3回散布 208L/10a(今帰仁) 300L/10a(平良)	沖縄病害虫 防除所(今 帰仁)	0	-	/	/	/	/	/
3	7	/	/	/				/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2	<0.3
3	14	/	/	/				/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2	<0.3
3	21	/	/	/				/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2	<0.3
沖縄農試 (平良)	0	-	/	/			/	/	/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2
	3	7	/	/	/	/	/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2	<0.3	
	3	14	/	/	/	/	/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2	<0.3	
	3	21	/	/	/	/	/	/	<0.1	<0.1	<0.2	<0.2	<0.3	

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					山形農業試験場(No. 83)					-				
					トリフルシール				合計	トリフルシール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	最高値			
あけび (露地) (果実) H15年度	水和剤(30%) 2000倍 500L/10a 3回 散布	山形農業研 究研修センター (中山間地)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11					
			3	3	0.24	0.24	<0.06	<0.06	0.30					
			3	7	0.10	0.09	<0.06	<0.06	0.15					
			3	14	0.07	0.06	<0.06	<0.06	0.12					
	山形園試	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11						
		3	3	0.23	0.21	<0.06	<0.06	0.27						
		3	7	0.11	0.10	<0.06	<0.06	0.16						
		3	14	0.06	0.06	<0.06	<0.06	0.12						
				(財)残留農薬研究所(No. 84)					(株)日曹分析センター(No. 84)					
いちじく (露地) (果実) H6年度	水和剤(30%) 500倍 1L/株 3回 灌注	愛知農総試	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			6	7	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			6	14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
			6	21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.02	<0.02	0.02	0.02	0.04
	福岡農総試 (豊前)	0	-	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
		6	7	0.01	0.01	<0.02	<0.02	0.03	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
		6	14	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
		6	21	<0.01	<0.01	<0.02	<0.02	<0.03	<0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使用 回 数	経 過 日 数	分析結果(ppm)									
					公的分析機関					社内分析機関				
					山形農業試験場(No. 85)					-				
					トリフルシゾール				合計	トリフルシゾール				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	最高値	
かりん (露地) (果実) H15年度	水和剤(30%) 2000倍 75L/5樹	山梨果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.07					
			3	1	0.18	0.17	0.07	0.06	0.23					
			3	7	0.11	0.11	0.11	0.11	0.22					
			3	21	0.02	0.02	0.08	0.08	0.10					
かりん (露地) (果実) H16年度	3回 散布	山梨果試	0	-	<0.02	<0.02	<0.05	<0.05	<0.07					
			3	1	0.14	0.14	<0.05	<0.05	0.19					
			3	7	0.09	0.08	0.05	0.05	0.13					
			3	21	0.05	0.05	0.05	0.05	0.10					
					公的分析機関					社内分析機関				
					(財)残留農薬研究所(No. 86)					日本曹達(株) ファイナシカル研究所 (No. 86)				
					トリフルシゾール				合計	トリフルシゾール+				合計
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値	最高値	平均値	
茶 (露地) (製茶) S57年度	水和剤(30%) 1000倍 200L/10a	京都茶業 研究所	0	-	<0.07	<0.07	0.22	0.22	0.29	<0.08	<0.08			
			3	7	32.9	32.0	7.82	7.78	39.8	62.2	61.7			
			3	14	3.01	3.01	4.55	4.12	7.13	9.78	9.72			
			3	21	0.53	0.52	1.85	1.72	2.24	2.78	2.74			
	3回 散布	熊本茶試	0	-	0.11	0.10	0.38	0.36	0.46	<0.08	<0.08			
			3	7	3.07	2.94	7.81	7.78	10.7	19.5	18.5			
			3	14	0.35	0.33	1.68	1.56	1.89	3.47	3.46			
			3	21	0.07	0.07	0.63	0.60	0.67	0.83	0.80			

作物名 (栽培形態) (分析部位) 年度 分析方法	剤型 (有効性分量) 希釈倍数または 使用量 使用方法	試料調製 場所	使 用 回 数	経 過 日 数	分析結果 (ppm)						
					公的分析機関					社内分析機関	
					(財)残留農薬研究所 (No. 86)					日本曹達(株) ファインケミカル研究所 (No. 86)	
					トリフルミゾール				合計	トリフルミゾール+ FM-6-1*	
					最高値	平均値	最高値	平均値		最高値	平均値
茶 (露地) (浸出液) S57年度	水和剤(30%) 1000倍 200L/10a	京都茶業 研究所	0	-	<0.07	<0.07	<0.09	<0.09	<0.16	<0.07	<0.07
			3	7	1.38	1.36	2.56	2.55	3.91	7.20	6.71
			3	14	0.15	0.14	1.49	1.43	1.57	2.15	2.10
			3	21	<0.07	<0.07	0.43	0.42	0.49	0.64	0.58
	3回 散布	熊本茶試	0	-	<0.07	<0.07	0.12	0.12	0.19	<0.07	<0.07
			3	7	0.26	0.26	3.05	2.93	3.19	3.30	3.27
			3	14	<0.07	<0.07	0.62	0.60	0.67	0.92	0.84
			3	21	<0.07	<0.07	0.25	0.23	0.30	0.22	0.20
						愛知県農業総合試験場 (No. 87)					
しそ (施設) (葉部) H1年度	水和剤(30%) 5000倍 1-3回散布 40-45L/10a(豊川)	愛知農総試 (豊川)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/
			1	23	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		
			2	16	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		
			3	9	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		
	35-45L/10a(豊橋)	愛知農総試 (豊橋)	0	-	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11	/	/
			1	23	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		
			2	16	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		
			3	9	<0.05	<0.05	<0.06	<0.06	<0.11		